
AX3640S・AX3630S ソフトウェアマニュアル
メッセージ・ログレファレンス

Ver. 11.10 対応

AX36S-S008-H0

■対象製品

このマニュアルは AX3640S および AX3630S を対象に記載しています。また、ソフトウェア Ver. 11.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、ソフトウェア OS-L3A, OS-L3L, およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

IPX は、Novell, Inc. の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Octpower は、日本電気（株）の登録商標です。

RSA, RSA SecurID は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

VitalQIP, VitalQIP Registration Manager は、アルカテル・ルーセントの商標です。

VLANaccessClient は、NEC ソフトの商標です。

VLANaccessController, VLANaccessAgent は、NEC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2012年 12月（第18版）AX36S－S008－H0

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2005, 2012, ALAXALA Networks, Corp.

変更履歴
【Ver. 11.7 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ログの確認	• トラッキングオブジェクトログの記述を追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	• ポリシーベースルーティングのログを追加しました。 • ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のログを追加しました。
トラッキングオブジェクトログ	• 本章を追加しました。

【Ver. 11.6 対応版】

AX3650S の記述は AX3800S・AX3650S ソフトウェアマニュアルに収録しました。

【Ver. 11.5 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
RIP	• VRF の記述を追加しました。
OSPF	• VRF の記述を追加しました。
BGP4	• VRF の記述を追加しました。
IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル 共通	• VRF 関連のログを追加しました。
OSPFv3	• VRF の記述を追加しました。
BGP4+	• VRF の記述を追加しました。
IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル 共通	• VRF 関連のログを追加しました。
IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP)	• VRF 関連のログを追加しました。
IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6)	• VRF 関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = ACCESS	• VRF の記述を追加しました。
イベント発生部位 = IP	• VRF 関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	• VRF の記述を追加しました。 • IPv4 マルチキャスト関連のログを追加しました。 • IPv6 マルチキャスト関連のログを追加しました。 • 装置の管理関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = EQUIPMENT	• 装置の管理関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = FAN	• AX3650S 関連の記述を追加しました。

【Ver. 11.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = VLAN (Ring Protocol)	• 多重障害監視機能に関するログを追加しました。

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = SOFTWARE	- IPv6 DHCP リレーに関するログを追加しました。 - 省電力に関するログを追加しました。 - DHCP snooping に関するログを追加しました。
イベント発生部位 = ULR	自動切り戻しに関するログを追加しました。

【Ver. 11.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = VLAN (Ring Protocol)	経路切り戻し抑止機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	VRRP のトラッキング機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位 = ULR	本項を追加しました。

【Ver. 11.1 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
RIP	認証に関するログを追加・変更しました。
イベント発生部位 = VLAN (CFM)	本項を追加しました。

【Ver. 11.0 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = VLAN	汎用 Flush Request フレーム受信による MAC アドレステーブルクリア時のログを追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	最大マルチパス数の設定に関するログを追加しました。

【Ver. 10.8 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = VLAN	メッセージ識別子 25100031 のログを削除しました。
イベント発生部位 = VLAN (GSRP)	自動マスタ遷移待ち時間が経過したときのログを追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	- IEEE802.1X に関するログの説明文を修正しました。 - Web 認証に関するログの説明文を修正しました。 - MAC 認証に関するログの説明文を修正しました。 - CPU 宛てのパケットキューイングに関するログを追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE (認証 VLAN)	認証 VLAN に関するログの説明文を修正しました。

【Ver. 10.7 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
BGP4	• BGP4 に関するログを追加しました。
BGP4+	• BGP4+ に関するログを追加しました。
PIM-SM	• Register パケットに関するログを変更しました。
イベント発生部位 = VLAN	• Ring Protocol とマルチプルスパニングツリーの併用動作に関連する記述を変更しました。
イベント発生部位 = VLAN (GSRP)	• Ring Protocol と GSRP の併用動作に関連する記述を変更しました。
イベント発生部位 = VLAN (L2 ループ検知)	• 本項を追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	• L2 ループ検知に関するログを追加しました。

【Ver. 10.6 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = SOFTWARE	• MAC 認証関連のログを追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = VLAN (Ring Protocol)	• 本項を追加しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	• sFlow 統計関連のログを追加しました。 • Ring Protocol 関連のログを追加しました。

【Ver. 10.3 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 =ACCESS	• ローカルコマンド承認関連のログを追加しました。 • 一部の RADIUS/TACACS+ の付加情報上位 4 桁を変更しました。
イベント発生部位 =VLAN	• ルートガード機能使用時, BPDU を受信したときのログを追加しました。
イベント発生部位 =SOFTWARE	• IEEE802.3ah/UDLD 関連のログを追加しました。 • マルチキャスト関連のログを追加しました。 • Web 認証関連のログを追加しました。
イベント発生部位 =SOFTWARE (認証 VLAN)	• 認証 VLAN 関連のログを追加しました。
イベント発生部位 =PORT	• IEEE802.3ah/UDLD 関連のログを追加しました。 • 片方向リンク障害の検出関連のログを追加しました。

【Ver. 10.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ログのコード情報	イベント発生部位の識別子を LINE から PORT に変更しました。
OSPF	新規ログメッセージ（項番 12）を追加しました。
BGP4	新規ログメッセージ（項番 89 ～ 95, 100 ～ 102）を追加しました。
OSPFv3	新規ログメッセージ（項番 12）を追加しました。
BGP4+	新規ログメッセージ（項番 86 ～ 92, 97 ～ 99）を追加しました。
イベント発生部位 = CONFIG	- 項番 1 ～ 3 のメッセージ識別子を変更しました。 - 新規ログメッセージ（項番 4）を追加しました。
イベント発生部位 = VLAN	- メッセージ識別子 20110030 のログメッセージを削除しました。 - 新規ログメッセージ（項番 37, 38, 45, 46）を追加しました。 - メッセージ中の NIF を NIF No. に, Line を Port No. に変更しました。
イベント発生部位 = MAC	メッセージ中の NIF を NIF No. に, Line を Port No. に変更しました。
イベント発生部位 = SOFTWARE	- メッセージ識別子 00005007, 00005017 のログメッセージを削除しました。 - 新規ログメッセージ（項番 13, 14, 15, 42, 43, 44, 69, 93, 94, 116, 117）を追加しました。 - 項番 85, 113 のメッセージ識別子を変更しました。
イベント発生部位 = PORT	- イベント発生部位の識別子を LINE から PORT に変更しました。 - 新規ログメッセージ（項番 2, 4, 22 ～ 30）を追加しました。 - 項番 1, 3, 6 ～ 17, 19 ～ 21, 31 ～ 33 のログメッセージを変更しました。
イベント発生部位 = PS	新規ログメッセージ（項番 1, 3, 6）を追加しました。
イベント発生部位 =EQUIPMENT	新規ログメッセージ（項番 1）を追加しました。
イベント発生部位 =FAN	本項を追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX3640S および AX3630S を対象に記載しています。また、ソフトウェア Ver. 11.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、ソフトウェア OS-L3A, OS-L3L, およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

なお、このマニュアルでは特に断らないかぎり、AX3640S および AX3630S に共通の機能および各ソフトウェアで共通の機能について記載します。AX3640S および AX3630S で共通でない機能、OS-L3A および OS-L3L で共通でない機能についてはそれぞれ以下のマークで示します。

【AX3640S】：

AX3640S についての記述です。

【AX3630S】：

AX3630S についての記述です。

【OS-L3A】：

AX3640S および AX3630S の OS-L3A についての記述です。

また、オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

【OP-DH6R】：

オプションライセンス OP-DH6R についての記述です。

【OP-OTP】：

オプションライセンス OP-OTP についての記述です。

【OP-VAA】：

オプションライセンス OP-VAA についての記述です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<http://www.alaxala.com>

■マニュアルの読書手順

本装置の導入、セットアップ、日常運用までの作業フローに従って、それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●装置の開梱から、初期導入時の基本的な設定を知りたい

クイックスタートガイド

(AX36S-Q001)

●ハードウェアの設備条件、取扱方法を調べる

ハードウェア取扱説明書

(AX36S-H001)

●ソフトウェアの機能、
コンフィグレーションの設定、
運用コマンドについての確認を知りたい

コンフィグレーションガイド
Vol. 1

(AX36S-S001)

Vol. 2

(AX36S-S002)

Vol. 3

(AX36S-S003)

●コンフィグレーションコマンドの
入力シンタックス、パラメータ詳細
について知りたい

コンフィグレーション
コマンドレファレンス
Vol. 1

(AX36S-S004)

Vol. 2

(AX36S-S005)

●運用コマンドの入力シンタックス、
パラメータ詳細について知りたい

運用コマンドレファレンス
Vol. 1

(AX36S-S006)

Vol. 2

(AX36S-S007)

●メッセージとログについて調べる

メッセージ・ログレファレンス

(AX36S-S008)

●MIBについて調べる

MIBレファレンス

(AX36S-S009)

●トラブル発生時の対処方法について
知りたい

トラブルシューティングガイド

(AX36S-T001)

■このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4

BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合があります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CC	Continuity Check
CDP	Cisco Discovery Protocol
CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FQDN	Fully Qualified Domain Name
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover

MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second *ppsと表記する場合があります。
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PoE	Power over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
QoS	Quality of Service
QSFP+	Quad Small Form factor Pluggable Plus
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SFP+	Enhanced Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier

TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VAA	VLAN Access Agent
VLAN	Virtual LAN
VPN	Virtual Private Network
VRF	Virtual Routing and Forwarding/Virtual Routing and Forwarding Instance
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ kB(バイト)などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1024 バイト, 1024^2 バイト, 1024^3 バイト, 1024^4 バイトです。

目次

1	運用メッセージとログ	1
1.1	運用メッセージの確認	2
1.1.1	メッセージの種類	2
1.1.2	運用メッセージの内容	2
1.1.3	運用メッセージのフォーマット	3
1.1.4	運用メッセージの出力	3
1.2	ログの確認	5
1.2.1	ログの種類	5
1.2.2	ログの内容	5
1.2.3	運用ログのフォーマット	6
1.2.4	種別ログのフォーマット	7
1.2.5	ログのコード情報	8
1.2.6	ログの自動保存と参照	10
2	ルーティングのイベント情報	13
2.1	IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM)	14
2.1.1	RIP	14
2.1.2	OSPF 【OS-L3A】	17
2.1.3	BGP4 【OS-L3A】	21
2.1.4	IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通	41
2.2	IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM)	42
2.2.1	RIPng	42
2.2.2	OSPFv3 【OS-L3A】	44
2.2.3	BGP4+ 【OS-L3A】	47
2.2.4	IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通	66
2.3	IPv6 ルーティング情報 (RTM)	67
2.3.1	RA	67
2.4	IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP)	69
2.4.1	PIM-SM	69
2.5	IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6)	75
2.5.1	IPv6 PIM-SM	75
3	装置関連の障害およびイベント情報	81
3.1	コンフィグレーション	82
3.1.1	イベント発生部位 = CONFIG	82
3.2	アクセス	84
3.2.1	イベント発生部位 = ACCESS	84
3.3	プロトコル	91

3.3.1 イベント発生部位 = IP	91
3.3.2 イベント発生部位 = VLAN	95
3.3.3 イベント発生部位 = VLAN (Ring Protocol)	107
3.3.4 イベント発生部位 = VLAN (GSRP)	110
3.3.5 イベント発生部位 = VLAN (L2 ループ検知)	114
3.3.6 イベント発生部位 = VLAN (CFM)	115
3.3.7 イベント発生部位 = MAC	117
3.4 装置の各部位	122
3.4.1 イベント発生部位 = SOFTWARE	122
3.4.2 イベント発生部位 = SOFTWARE (認証 VLAN) 【OP-VAA】	154
3.5 ポート	157
3.5.1 イベント発生部位 = PORT	157
3.5.2 イベント発生部位 = ULR	163
3.6 オプション機構	169
3.6.1 イベント発生部位 = PS	169
3.6.2 イベント発生部位 = EQUIPMENT	170
3.6.3 イベント発生部位 = FAN	174

4

トラッキングオブジェクトログ 【AX3640S】 【OS-L3A】	175
4.1 トラッキングオブジェクトログ	176

索引

177

1

運用メッセージとログ

この章ではトラブルが発生した場合にどの部分で障害が発生しているかを特定するための手段となる障害部位，運用メッセージ，ログについて説明しています。

1.1 運用メッセージの確認

1.2 ログの確認

1.1 運用メッセージの確認

本装置は動作状態の変化や障害情報など、管理者に通知することを目的とした情報を運用メッセージとして運用端末に出力します。運用メッセージは運用端末に出力するほか、運用ログとして装置内に保存します。この情報で装置の運用状態を管理できます。

1.1.1 メッセージの種類

本装置が出力するメッセージの種類と参照先を、次の表に示します。メッセージの種類のうち、本装置が出力するルーティングプロトコルのイベント情報、および装置関連の障害情報やイベント情報を運用メッセージと呼びます。

表 1-1 メッセージの種類と参照先

メッセージの種類	内容	参照先
コンフィグレーションエラーメッセージ	コンフィグレーションコマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの[応答メッセージ]
運用メッセージ	ルーティングプロトコルのイベント情報	「2 ルーティングのイベント情報」
	装置関連の障害情報およびイベント情報	「3 装置関連の障害およびイベント情報」

1.1.2 運用メッセージの内容

ルーティングプロトコルのイベント情報は、本装置が運用メッセージとして出力する機能項目と、運用メッセージとして出力しない機能項目があります。運用メッセージとして出力しない場合も運用ログは取得します。運用メッセージのサポート内容を次の表に示します。

表 1-2 運用メッセージのサポート内容

分類	機能項目	運用 メッセージ
ルーティングプロトコルのイベント情報	IPv4 ルーティング情報	○
	IPv4 マルチキャストルーティング情報	×
	IPv6 ルーティング情報	○
	IPv6 マルチキャストルーティング情報	×
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○

(凡例)

- ：メッセージ表示します。
- ×：メッセージ表示しません。

1.1.3 運用メッセージのフォーマット

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-1 ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss      ttttttttttttttttt~tttttttttttttttt
1                      2
```

1. 時刻・・・メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
2. メッセージテキスト・・・発生した事象とそれに関する情報を示します。

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-2 装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss ee kkkkkkkkk [iii...iiil] xxxxxxxx yyyy:yyyyyyyyyyyyyy ttt~ttt
1          2      3          4          5          6          7
```

1. 時刻：メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
2. イベントレベル
3. イベント発生部位または機能
4. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
5. メッセージ識別子
6. 付加情報
7. メッセージテキスト

イベントレベル、イベント発生部位または機能など、メッセージに含まれるコード情報はログと同じです。詳細は、「1.2.4 種別ログのフォーマット」を参照してください。

1.1.4 運用メッセージの出力

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

ルーティングプロトコルのイベント情報では、IPv4 ルーティングプロトコル、IPv6 ルーティングプロトコルの動作状態を通知します。メッセージを運用端末に画面出力する場合は、コマンドで指定します。使用するコマンドを次の表に示します。なお、マルチキャストルーティングプロトコルはメッセージを表示しないで、運用ログとして取得するだけです。

表 1-3 ルーティングプロトコルのイベント情報のメッセージ出力

分類	コマンド名	内容
IPv4 ルーティング情報	debug protocols unicast	メッセージ表示を開始します。
	no debug protocols unicast	メッセージ表示を停止します。
IPv4 マルチキャストルーティング情報	—	メッセージ表示しません。
IPv6 ルーティング情報	debug protocols unicast	メッセージ表示を開始します。
	no debug protocols unicast	メッセージ表示を停止します。

1.1 運用メッセージの確認

分類	コマンド名	内容
IPv6 マルチキャストルーティング情報	—	メッセージ表示しません。

(凡例) —：該当しません。

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報は、すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって、イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。
set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると、指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

1.2 ログの確認

1.2.1 ログの種類

本装置が取得するログは運用ログと種別ログの2種類があります。運用ログは入力したコマンド、コマンド応答メッセージおよび運用メッセージとして運用端末に出力する情報で選択した操作情報および操作によるイベント情報をログとして時系列に取得します。種別ログは運用メッセージのうち装置関連の障害およびイベント情報の統計情報をログとして取得します。

運用ログと種別ログの特徴を次の表に示します。

表 1-4 運用ログと種別ログの特徴

項目	運用ログ	種別ログ
ログの内容	発生したイベントを時系列に取得します。	同一のイベントにつき、最も古い発生時刻と最新の発生時刻、累積回数の統計情報を記録します。
取得の対象とする保守情報	- 入力したコマンド - コマンド応答メッセージ - ルーティングプロトコルのイベント情報 - 装置関連の障害およびイベント情報	装置関連の障害およびイベント情報
ログの取得数	- ログの取得数は1500エントリです。この内、先頭から1000エントリはすべてのログを時系列に保存します。 - 残り500エントリは上記1000エントリから溢れた古いログのうち、ログ種別が'KEY'、'RSP'、'ERR'、'EVT'のログだけ時系列に保存します。 1エントリは80文字となります。取得したログが100文字の場合は2エントリ分となります。	ログ取得数は500エントリです。
ログの取得数オーバー処理	- ログ取得数が1000エントリを超えた場合は、溢れた古いログの種類により削除処理が異なります。 - 溢れた古いログのうち、ログ種別が'KEY'、'RSP'、'ERR'、'EVT'以外のログは削除されます。 - 溢れた古いログのうち、ログ種別が'KEY'、'RSP'、'ERR'、'EVT'のログは、1001～1500エントリに保存されます。1500エントリを超えた場合は、古いログを削除します。	ログ取得数が500エントリを超えた場合は、新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除して新しいログを取得します。ただし、新たに発生したイベントのレベルがE3またはE4の場合は取得しません。

1.2.2 ログの内容

運用ログ、種別ログとして取得する情報を次の表に示します。

表 1-5 運用ログ、種別ログとして取得する情報

分類	内容	運用ログ	種別ログ	参照先
入力したコマンド	オペレータが運用端末より入力したコマンド	○	×	—
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	○	×	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの「応答メッセージ」

1.2 ログの確認

分類	内容	運用 ログ	種別 ログ	参照先
ルーティングプロトコルのイベント情報	IPv4 ルーティングプロトコル情報	○	×	「2 ルーティングのイベント情報」
	IPv4 マルチキャストルーティング情報	○	×	
	IPv6 ルーティングプロトコル情報	○	×	
	IPv6 マルチキャストルーティング情報	○	×	
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○	○	「3 装置関連の障害およびイベント情報」
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○	○	
トラッキングオブジェクトログ 【AX3640S】 【OS-L3A】	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能情報	○	×	「4 トラッキングオブジェクトログ 【AX3640S】 【OS-L3A】」

(凡例)

- ：メッセージ表示，またはログを取得します。
×：メッセージ表示しません。また，ログも取得しません。
－：該当しません。

1.2.3 運用ログのフォーマット

運用中のメッセージは運用ログとして装置内に保存します。ログの格納時は運用メッセージとして画面出力する情報に**ログ種別**を付加したフォーマットになります。

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

入力コマンド、コマンド応答メッセージ、ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-3 入力コマンド、コマンド応答メッセージ、ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマット

<u>kkk</u>	<u>mm/dd hh:mm:ss</u>	<u>tttttttttttttt~tttttttttttttt</u>
1	2	3

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを3文字の文字列で表示したもの。
 - KEY：入力コマンドで選択した操作情報
 - RSP：コマンド応答メッセージの操作によるイベント情報
 - RTM, MRP, MR6：ルーティングプロトコルのイベント情報
2. 時刻・・・採取月、日、時、分、秒をテキスト表示します。
3. メッセージテキスト

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-4 装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

<u>kkk</u>	<u>mm/dd hh:mm:ss</u>	<u>ee</u>	<u>kkkkkkkk</u>	<u>[iii. . . iiii]</u>	<u>xxxxxxxx</u>	<u>yyyy:yyyyyyyyyyyy</u>
1	2	3	4	5	6	7
<u>tttt~tttt</u>						
8						

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
 - ERR：装置のイベント発生部位ごとの障害情報
 - EVT：装置のイベント発生部位ごとのイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. イベントレベル
4. イベント発生部位または機能
5. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
6. メッセージ識別子
7. 付加情報
8. メッセージテキスト

(3) **トラッキングオブジェクトログ【AX3640S】【OS-L3A】**

トラッキングオブジェクトログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-5 トラッキングオブジェクトログのフォーマット

<u>kkk</u>	<u>mm/dd hh:mm:ss</u>	<u>tttttttttttttttttt~tttttttttttttttt</u>
1	2	3

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
 - TRO：ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. メッセージテキスト

1.2.4 **種別ログのフォーマット**

装置関連の障害情報およびイベント情報は発生順に運用ログとして保存しますが、このほかに種別ログとしても保存します。種別ログは、情報をメッセージ識別子ごとに分類した上で、同事象が最初に発生した日時および最後に発生した日時と累積回数を記録します。

種別ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-6 種別ログのフォーマット

<u>ee</u>	<u>kkkkkkkk</u>	<u>[iii. . . iiii]</u>	<u>xxxxxxxx</u>	<u>yyyy:yyyyyyyyyyyy</u>
1	2	3	4	5
<u>mm/dd hh:mm:ss</u>				
<u>mm/dd hh:mm:ss</u>				
<u>ccc</u>				
6				
7				
8				

1. イベントレベル（E9 ～ E3）
2. イベント発生部位または機能
3. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント発生部位に依存）
4. メッセージ識別子
5. 付加情報

6. 該当障害の最新の発生時刻
7. 該当障害の最旧の発生時刻
8. 該当障害の発生回数

1.2.5 ログのコード情報

(1) ログ種別

運用ログに付加されるログ種別には次の種類があります。

- ユーザのコマンド操作とその結果
- 装置が出力する動作情報
- 障害情報

ログとして取得する情報とログ種別の対応を次の表に示します。運用ログのうち装置関連の障害およびイベント情報、および種別ログにはイベントレベルを付加します。

表 1-6 ログとして取得する情報とログ種別の対応

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
入力コマンドで選択した操作情報	KEY	オペレータが運用端末から入力したコマンドで選択した操作情報	—
コマンド応答メッセージの操作によるイベント情報	RSP	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージの操作によって発生したイベント情報	—
ルーティングプロトコル情報	RTM	IPv4 ルーティング情報または IPv6 ルーティング情報	—
	MRP	IPv4 マルチキャストルーティング情報	—
	MR6	IPv6 マルチキャストルーティング情報	—
装置関連の障害およびイベント情報	ERR	装置の各イベント発生部位ごとの障害情報	E9 ~ E5
	EVT	装置の各イベント発生部位ごとのイベント情報	E4, E3, R8 ~ R5
レイヤ 2 認証情報	AUT	レイヤ 2 認証機能の各プログラムで採取する情報。対応する運用コマンドで表示。 • show dot1x logging • show web-authentication logging • show mac-authentication logging	—
DHCP snooping 情報	DSN	DHCP snooping で採取する情報。対応する運用コマンドで表示。 • show ip dhcp snooping logging	—
トラッキングオブジェクトログ 【AX3640S】 【OS-L3A】	TRO	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能情報	—

(凡例) —：該当しません。

(2) イベントレベル

種別ログで示されるイベントは、重要度によって 7 段階でレベル分けされます。イベントレベルと内容を次の表に示します。

表 1-7 イベントレベルと内容

イベント レベル	表示内容（種別）	内容
9	E9（致命的障害）	装置全体が停止する障害 （装置再起動または装置運用停止）
8	E8（重度障害） R8（重度障害回復）	ファン、電源または装置の一部が停止する障害 • 障害がハードウェア部分障害の場合、該当ハードウェアの再起動を伴う
7	E7（ソフトウェア部分障害） R7（ソフトウェア部分障害回復）	ソフトウェアの一部が停止する障害
6	E6 R6	未使用
5	E5 R5	未使用
4	E4（ネットワーク障害）	回線に関する情報（LAN）
3	E3（警告）	警告

なお、イベントレベル E9 から E5 の障害が回復した場合、各レベルに対応して R8 から R5 までのレベル表示で運用メッセージを出力します。また、E9 から E5 の障害が発生した場合、運用ログおよび種別ログを「/usr/var/log/system.log」、 「/usr/var/log/error.log」として装置内メモリに自動保存を行います。

(3) イベント発生部位

種別ログでは発生したイベントの部位または機能を識別子で示します。イベント発生部位を次の表に示します。

表 1-8 イベント発生部位

項番	識別子	イベント発生部位または機能
1	CONFIG	コンフィグレーション
2	ACCESS	装置アクセス権制御
3	IP	IP 制御機能
4	VLAN	VLAN 制御機能
5	MAC	MAC 制御機能
6	SOFTWARE	ソフトウェア制御機能
7	PORT	ポート制御機能
8	ULR	アップリンク・リダンダント制御機能
9	PS	電源制御機能
10	EQUIPMENT	装置制御機能
11	FAN	ファン制御機能

(4) イベント発生インタフェース識別子

イベントが発生したインタフェース部位を識別子で示します。本装置のインタフェース部位の部位識別子の表示形式を次の表に示します。

表 1-9 インタフェース部位識別子の表示形式

識別子の表示形式	インタフェース部位
GigabitEthernet <nif no.>/<port no.>	最大回線速度が 1000Mbit/s のイーサネットインタフェース
TenGigabitEthernet <nif no.>/<port no.>	最大回線速度が 10Gbit/s のイーサネットインタフェース

(凡例)

<nif no.> : NIF 番号 (0 固定)

<port no.> : ポート番号

(5) メッセージ識別子および付加情報

発生したイベントの内容をコードで示したものです。内容の詳細は「3 装置関連の障害およびイベント情報」を参照してください。

(6) 該当イベントの最新および最旧の発生時刻

該当イベントが最初に発生した時刻および最新の発生時刻を示します。

(7) 該当イベントの発生回数

該当イベントが繰り返し発生している場合にその累計を示します。累計はログの採取開始から現在までに発生したイベントの回数となります。該当イベントが 255 以上発生している場合、発生回数の表示は 255 となります。

1.2.6 ログの自動保存と参照

(1) ログの自動保存

運用ログと種別ログは、以下に示す契機で内蔵フラッシュメモリ上へ自動的に保存されます。またログの保存先を次の表に示します。なお、コンフィグレーションコマンド `no logging syslog-dump` を設定している場合は、以下の 1. の契機にだけ自動的に保存されます。

ログを自動保存する契機

1. 本装置を起動させた場合
2. イベントレベル E9 から E5 の重度障害が発生した場合
3. 運用コマンドの `reload` コマンドにより装置の再起動を行った場合
4. ログインまたはログアウトを行った場合
5. `ppupdate` に伴う装置の再起動を行った場合
6. リセットスイッチを押して装置再起動を行った場合

表 1-10 ログの保存先

ログの種類	装置内メモリの保存先
運用ログ	/usr/var/log/system.log へ保存
種別ログ	/usr/var/log/error.log へ保存

(2) ログの参照とファイルの作成方法

運用ログおよび種別ログは `show logging` コマンドを使用して参照します。これらのログはファイルとして

取り出すこともできます。ファイルは show logging コマンド実行時にリダイレクト指定して作成します。show logging コマンド以外のコマンド出力結果をファイルとして取り出す場合も、同様にリダイレクト指定します。コマンドのリダイレクトによってファイルを作成する場合の格納ディレクトリを次の表に示します。

表 1-11 格納ディレクトリ

項目	格納ディレクトリ	備考
ユーザホームディレクトリ	/usr/home/< ユーザアカウント名 >/	装置内メモリに格納
テンポラリディレクトリ	/tmp/	装置が電源断や reload コマンドによって停止した場合、格納ファイルは削除されます。

次に、show logging コマンドを実行し、ログ情報のバックアップを作成する例を示します。

運用ログを装置内メモリにバックアップ

```
> show logging > /usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
```

(3) リモートホストでのログ取得

syslog 出力機能を使用してリモートホスト側にもログを取得できます。ただし、syslog 出力機能ではフレームロスなどによってログ情報が紛失する可能性があります。

syslog 出力機能については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 logging facility」を参照してください。

(4) ログの E-Mail 送信機能

E-Mail 送信機能を使用してリモートホスト、PC などにログ情報を送ることができます。この機能ではメールの受信には対応していません。この機能によって送付されたメールに対して返信を行うと送信エラーとなります。

E-Mail 送信機能については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 logging email-from, コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 logging email-server」を参照してください。

2

ルーティングのイベント情報

この章ではルーティングのイベント情報の内容について説明します。ルーティングプロトコルのイベント情報では、IPv4 ルーティングプロトコル、IPv6 ルーティングプロトコルの動作状態を通知します。メッセージを運用端末に画面出力する場合は、コマンドで指定します。なお、マルチキャストルーティングプロトコルはメッセージを表示しないで、運用ログとして取得するだけです。

2.1 IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM)

2.2 IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM)

2.3 IPv6 ルーティング情報 (RTM)

2.4 IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP)

2.5 IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6)

2.1 IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM)

IPv4 ルーティングプロトコルのイベント情報について説明します。

2.1.1 RIP

IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-1 IPv4 ルーティングプロトコル (RIP) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	rip_rcv_response: Bad metric (<metric>) for net <destination address> from <source address>	エラー (相手装置)
		不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <metric> 経路情報のメトリック値 <destination address> 経路情報の宛先アドレス <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
2	rip_rcv_response: Bad mask (<mask>) for net <destination address> from <source address>	エラー (相手装置)
		不正なネットワークマスクを持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mask> 経路情報のネットワークマスク <destination address> 経路情報の宛先アドレス <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
3	rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - ignoring version 0 packets	エラー (相手装置)
		バージョンフィールドが 0 のため、受信した RIP パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
4	rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - reserved field not zero	エラー (相手装置)
		リザーブフィールドが 0 ではないため、受信した RIP パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
5	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - authentication failure [(Key-ID <key id>)]	エラー（自装置／相手装置） 認証エラーのため、受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、次のメッセージの回数を含みます。 rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication type rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>) rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>) [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ <key id> キー識別子 [対応] 自装置と相手装置の RIP で認証キーが一致しているか調査してください。 認証キーが一致していない場合は、認証キーが一致するように設定してください。
6	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - TRACE packets not supported	ワーニング（相手装置） TRACE パケットは未サポートのため、受信した RIP パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ • TraceOn, TraceOff <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）の仕様を確認してください。
7	rip_init: Old copy of rtm is running	エラー（自装置） すでにユニキャストルーティングプログラムが動作している可能性があります。 ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。
8	RIP: The total number of RIP targets is more than the maximum permitted	エラー（自装置） RIP ターゲット（隣接）の総数が最大許容数をオーバーしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 最大隣接ルータ数が収容条件を超えないように RIP の設定を見直してください。

項番	メッセージテキスト	内容
9	rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication type	エラー（相手装置） 認証情報の認証タイプが不正なため、受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、次のメッセージの回数を含みます。 <pre>rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - authentication failure [(Key-ID <key id>)] rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>) rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>)</pre> [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ - Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
10	rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>)	エラー（自装置／相手装置） 認証情報のキー識別子が不正なため、受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、次のメッセージの回数を含みます。 <pre>rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - authentication failure [(Key-ID <key id>)] rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication type rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>)</pre> [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ - Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ <key id> キー識別子 [対応] 自装置と相手装置の RIP で認証情報のキー識別子が一致しているか調査してください。 認証情報のキー識別子が一致していない場合は、認証情報のキー識別子が一致するように設定してください。

項番	メッセージテキスト	内容
11	rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>)	エラー（相手装置） 認証情報のシーケンス番号が不正なため、受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、次のメッセージの回数を含みます。 rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - authentication failure [(Key-ID <key id>)] rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication type rip_rcv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>) [メッセージテキストの表示説明] <rip command> 受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ <key id> キー識別子 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。

2.1.2 OSPF 【OS-L3A】

IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-2 IPv4 ルーティングプロトコル (OSPF) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	OSPF SENT <source address> -> <destination address> : <error string>	ワーニング（自装置） OSPF パケットの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
2	OSPF: Helper to adjacency <router id> address <address> failed because restart time is up.	情報（相手装置） リスタート待ち時間が経過したため、ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス [対応] 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。 停止していない場合、隣接ルータのリスタート時間を調整してください。

項番	メッセージテキスト	内容
3	OSPF: Helper to adjacency <router id> address <address> failed because network topology is changed.	ワーニング (自装置／ネットワーク) トポロジ変更のため、ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス [対応] なし。
4	OSPF RECV [Area <area id>] <source address> -> <destination address> : <log type>.	ワーニング (自装置／相手装置) 受信した OSPF パケットが不正です。 ただし、OSPF インタフェースとして設定していないブロードキャスト型インタフェースから受信したマルチキャストパケットは、ログ採取せずに廃棄します。 [メッセージテキストの表示説明] <area id> エリア ID <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <log type> ログ種別 • IP: bad destination • IP: bad protocol • IP: received my own packet • OSPF: bad packet type • OSPF: bad version • OSPF: bad checksum • OSPF: packet too small • OSPF: packet size > ip length • OSPF: bad area id • OSPF: unknown neighbor • OSPF: area mismatch • OSPF: bad virtual link • OSPF: bad authentication type • OSPF: bad authentication key • OSPF: interface down • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: NBMA neighbor unknown • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad [対応] ログ種別によって、対応が異なります。 • IP: bad destination <source address> が直結ネットワークではない、または <destination address> が OSPF 未設定のインタフェースの場合、 OSPF インタフェースの設定を修正してください。

項番	メッセージテキスト	内容
		• IP: bad protocol • IP: received my own packet • OSPF: bad packet type • OSPF: bad version • OSPF: bad checksum • OSPF: packet too small • OSPF: packet size > ip length • OSPF: bad area id 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPF) を調査してください。 • OSPF: unknown neighbor Hello で認識していない隣接ルータから、Hello 以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • OSPF: area mismatch • OSPF: bad virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合、エリアの設定を修正してください。 それ以外は対応不要です。 • OSPF: bad authentication type • OSPF: bad authentication key 認証の設定を修正してください。 • OSPF: interface down なし。 • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: NBMA neighbor unknown OSPF インタフェースの設定を修正してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの設定を修正してください。 • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の設定を修正してください。 • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPF) を調査してください。
5	OSPF: Abort due to <address> mask <mask1> advertisement was blocked by LSA <lsid> mask <mask2> Age <age>.	エラー (自装置) LSDB <lsid> と経路間で矛盾があります。 ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <address> 経路情報の宛先アドレス <mask1> 経路情報のネットワークマスク <lsid> LSA の LSID <mask2> LSA のネットワークマスク <age> LSA を生成してから時間 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	OSPF: Lost adjacency <router id> address <address>(<interface name>) due to sequence mismatch (<sequence1> versus <sequence2>)	ワーニング (自装置／相手装置)
		シーケンスの不一致によって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name> インタフェース名称 <sequence1> 制御データ上のシーケンス番号 <sequence2> DD メッセージ内のシーケンス番号 [対応] 頻発する場合は OSPF パケット再送間隔 (retransmitinterval) を長くしてください。
7	OSPF: Lost adjacency <router id> address <address>(<interface name>) because no Hello received recently.	ワーニング (相手装置／ネットワーク)
		隣接ルータから定期的に送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置－隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name> インタフェース名称 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔 (hellointerval) を短くし、Hello パケット最大許容受信間隔 (routerdeadinterval) を長くしてください。
8	OSPF: Lost adjacency <router id> address <address>(<interface name>) because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング (相手装置／ネットワーク)
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name> インタフェース名称 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔 (hellointerval) を短くし、Hello パケット最大許容受信間隔 (routerdeadinterval) を長くしてください。
9	OSPF: Lost adjacency <router id1> address <address>(<interface name>) due to bad LS Request (<lsid> <router id2> <ls type>).	エラー (相手装置)
		不正な LS リクエストによって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id1> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name> インタフェース名称 <lsid> LSA の LSID <router id2> LSA の広告ルータ ID <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPF) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
10	OSPF: Adjacency <router id> address <address>(<interface name>) is established.	情報（自装置／相手装置）
		OSPF の隣接ルータとの接続に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name> インタフェース名称 [対応] なし。
11	OSPF: Checksum failed at LSA type <ls type> ID <lsid> adv-router <router id> in this system's LSDB that belongs to Area <area id>, Domain <domain id>.	エラー（自装置）
		LSDB のチェックサムが不正です。ユニキャストルーティングプログラ ムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <ls type> LSA の LS タイプコード <lsid> LSA の LSID <router id> LSA の広告ルータ ID <area id> LSA のエリア ID <domain id> LSA のドメイン ID [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
12	OSPF: Recovered from stub router (in domain <domain id>).	情報（自装置）
		スタブルータ動作を終了します。 [メッセージテキストの表示説明] <domain id> OSPF のドメイン ID [対応] なし。

2.1.3 BGP4 【OS-L3A】

IPv4 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-3 IPv4 ルーティングプロトコル（BGP4）イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	bgp_check_auth: Synchronization failure with BGP task <task name>	エラー（相手装置）
		BGP4 タスクが受信したメッセージのヘッダマーカ値が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <task name> BGP4 タスク名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してくだ さい。
2	bgp_trace: Unsupported BGP version <version>!!!	エラー（自装置）
		制御データ上の BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルー ティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <version> 制御データ上の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。

項番	メッセージテキスト	内容
3	bgp_log_notify: Notify message received from <bgp name> [(<description>)] is truncated (length <length>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
4	bgp_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] blocked (no spooling requested): <error string>	ワーニング（自装置） ソケットバッファが一杯になり、該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 送信要求メッセージ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
5	bgp_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 送信要求メッセージ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
6	bgp_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)]: connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク） コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 送信要求メッセージ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。
7	bgp_send: Sending to <bgp name> [(<description>)] looping: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
8	bgp_send_open: Internal error! peer <bgp name> [(<description>)], version <version>	エラー（自装置） 該当ピアに送信する OPEN メッセージの BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <version> 送信メッセージ内の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
9	bgp_path_attr_error from <routine>: Update error subcode <code> (<error string>) for peer <bgp name> [(<description>)] detected. <length> bytes error data - 1st five:<error data>	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <routine> 内部ルーチン名称 <code> (<error string>) エラー要因 <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> エラーデータ長 <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
10	bgp_recv: Read from peer <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
11	bgp_recv: Peer <bgp name> [(<description>)]: Received unexpected EOF	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク） コネクションの切断によって該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。
12	bgp_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type> message arrived with length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <message type> 受信メッセージタイプ ・invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
13	bgp_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type1> arrived, expected <message type2> [or <message type2>]	エラー（相手装置） 該当ピアから状態に適切ではないメッセージタイプのメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <message type1> 受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <message type2> 状態に適切なメッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
14	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: received short version <version> message (<length> octets)	エラー（相手装置） 該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <version> 受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
15	bgp_get_open: Received unsupported version <version> message from peer <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置） 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
16	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: hold time too small (<holdtime>)	エラー（相手装置） 該当ピアからホールドタイムが 3 秒より小さい OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <holdtime> 受信メッセージ内のホールドタイム [対応] ピアのコンフィグレーションを調査してください。
17	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: invalid BGP identifier <router id>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正な BGP 識別子の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <router id> 受信メッセージ内の BGP 識別子 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
18	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Unsupported optional parameter <option>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <option> 受信メッセージ内のオプションコード [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください
19	bgp_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] claims AS <as1>, <as2> configured	ワーニング（自装置／相手装置） 該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <as1> 受信メッセージの AS 番号 <as2> コンフィグレーション上のピアの AS 番号 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
20	bgp_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] accepted mismatched versions: peer <version1> this system <version2>	ワーニング（相手装置） 該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態で KEEPALIVE メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <version1> 相手側の BGP バージョン番号 <version2> 自側の BGP バージョン番号 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
21	bgp_pp_recv: No group for <bgpp name> found, dropping peer	ワーニング（自装置／相手装置） 設定されていないピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name> 送信元ピア名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
22	bgp_pp_recv: Rejecting connection from <bgp name> [(<description>)], peer in state <state>	ワーニング（相手装置／ネットワーク） Idle, OpenConfirm, Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <state> ピア状態 • Idle, OpenConfirm, Established [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
23	bgp_pp_recv: Dropping <bgpp name> version <version>, <bgp name> [[<description>]] wants version 4	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>, <bgp name> 送信元ピア名称 <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを調査してください。
24	bgp_pp_recv: Peer <bgp name> [[<description>]] sent unexpected extra data, probably insane	エラー（相手装置）
		該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
25	bgp_check_capability_match: Capability of peer <bgp name> [[<description>]] is unmatched	ワーニング（相手装置）
		本装置に設定されている Capability の設定が、該当ピアに設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
26	bgp_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [[<description>]] failed: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1> 送信要求データ長 <length2> 送信済データ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
27	bgp_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [[<description>]]: Connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1> 送信要求データ長 <length2> 送信済データ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
28	bgp_write_flush: Sending to <bgp name> [(<description>)] (sent <length1>, <length2> remain[s]) looping: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <length1> 送信済データ長 <length2> 送信残データ長 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
29	bgp_peer_connected: task_get_addr_local(<bgp name> [(<description>))]: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのコネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
30	bgp_connect_start: Peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv4 address> unavailable, connection failed	ワーニング（自装置） 該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが利用できない（バインド失敗）ためにコネクション接続が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <ipv4 address> ピアリングに使用するローカルアドレス [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
31	bgp_traffic_timeout: Holdtime expired for <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置／ネットワーク） 該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
32	bgp_traffic_timeout: Error sending KEEPALIVE to <bgp name> [(<description>)): <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
33	bgp_listen_accept: accept(<socket>): <error string>	ワーニング（自装置） コネクションの受付が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <socket> ソケットのディスクリプタ番号 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
34	bgp_listen_accept: task_get_addr_local() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
35	bgp_listen_start: Couldn't get BGP listen socket!!	エラー（自装置）
		コネクション接続のためのソケット生成に失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
36	bgp_listen_start: listen: <error string>	エラー（自装置）
		コネクションの受付準備が失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <error string> エラー要因 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
37	bgp_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] interface not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
38	bgp_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv4 address> not on shared net. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <ipv4 address> コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。
39	bgp_pp_timeout: Peer <bgpp name> timed out waiting for OPEN	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
40	bgp_peer_init: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv4 address> not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置） 該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスに対する インタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <ipv4 address> コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。
41	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)]: Strange message header length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアからの受信メッセージはメッセージヘッダ内のメッセージ長 が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージのヘッダのメッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してくだ さい。
42	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] unrecognized message type <type>	エラー（相手装置） 該当ピアからの受信メッセージはメッセージタイプが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <type> メッセージタイプ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してくだ さい。
43	bgp_rcv_v4_update: Received OPEN message from <bgp name> [(<description>)], state is ESTABLISHED	ワーニング（相手装置／ネットワーク） ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信しまし た。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は不安定要因を 調査してください。
44	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE length <length> too small	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージ長が小さ過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してくだ さい。

項番	メッセージテキスト	内容
45	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable prefix length <length1> exceeds packet length <length2>	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がパケット長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 <length2> 受信パケット長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
46	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE zero attribute length followed by <length> bytes of garbage	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが、実体のデータが存在します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
47	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE path attribute length <length1> too large (<length2> bytes remaining)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性の長さより大き過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージのパス属性長 <length2> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
48	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no next hop found	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
49	bgp_rcv_v4_update: External peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included LOCALPREF attribute	エラー（相手装置） 該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性を含んでいます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
50	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no LOCALPREF attribute found	エラー（相手装置） 該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア番号 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
51	bgp_rcv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE has path attributes but no reachable prefixes!	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っているが到達性情報がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
52	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid unreachable prefix length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
53	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Prefix length <length1> exceeds unreachable prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超過しています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
54	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring unreachable route with two or more labels (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの複数ラベルを持つ非到達経路情報の経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> of <length2> メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
55	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring unreachable route with RD 0 prefix (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの RD 0 を持つ非到達経路情報の経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> of <length2> メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
56	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring invalid unreachable route <ipv4 address>/<mask> (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報の不正な経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <ipv4 address> 非到達経路情報の宛先アドレス <mask> 非到達経路情報のネットワークマスク <length1> of <length2> メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
57	bgp_rcv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] AS <as1> received path with first AS <as2>	エラー（相手装置） AS 番号 <as1> のピアから次ホップの AS 番号が <as2> の AS パスを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <as1> 送信元ピアの AS 番号 <as2> 受信メッセージ内の次ホップ AS 番号 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
58	bgp_rcv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid prefix length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
59	bgp_rcv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Prefix length <length1> exceeds prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長は実体のプレフィックス長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2> 実体のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
60	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring route with two or more labels (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの複数ラベルを持つ経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
61	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring route with RD 0 prefix (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの RD 0 を持つ経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
62	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Included invalid route <ipv4 address>/<mask> (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージは不正な経路を含んでいます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <ipv4 address> 宛先アドレス <mask> ネットワークマスク <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
63	bgp_recv_v4_reach: Ignoring network 0 route <ipv4 address>/<mask> from peer <bgp name> [(<description>)] (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアからのネットワーク 0 宛の経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address> 宛先アドレス <mask> ネットワークマスク <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
64	bgp_recv_v4_reach: Ignoring loopback route from peer <bgp name> [(<description>)] (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアからのループバック経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
65	bgp_rcv_mp_unreach: Peer <bgp name> [<description>] UPDATE: Invalid length of MP_UNREACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
66	bgp_rcv_mp_unreach: Peer <bgp name> [<description>] UPDATE: Invalid address family (<address family>) in MP_UNREACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリーが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <address family> 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリー情報 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
67	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [<description>] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
68	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [<description>] UPDATE: Invalid address family (<address family>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリーが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <address family> 受信した MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリー情報 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
69	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [<description>] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop length	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
70	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid nexthop length(<length>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
71	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
72	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid rd of nexthop (<rd1>:<rd2>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <rd1>:<rd2> 受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
73	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No reserved	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。Reserved フィールドがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
74	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa length	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
75	bgp_rcv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa	エラー (相手装置) 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
76	bgp_peer_established: Peer <bgp name> [(<description>)] connection established	情報 (自装置/相手装置) 該当ピアと BGP4 コネクションが確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
77	bgp_ifachange: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing interface state	情報 (自装置/相手装置) インタフェース状態の変化によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] インタフェースの状態変化要因を調査してください。
78	bgp_terminate: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by terminating bgp	情報 (自装置) BGP4 タスクの停止によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] BGP4 タスク停止要因を調査してください。
79	bgp_peer_delete: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報 (自装置) コンフィグレーション変更 (ピア情報の削除) によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
80	bgp_init: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報 (自装置) コンフィグレーションの変更によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
81	bgp_peer_clear: Peer <bgp name> [<description>]: Closed connection by clearing peer	情報（自装置） clear ip bgp コマンドの投入によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
82	bgp_pp_recv: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
83	bgp_recv_open: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
84	bgp_restart_timeout: Peer <bgp name> [<description>]: Timed out waiting for reconnect.	エラー（自装置／相手装置） グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] ピアルータと通信できるかどうかを確認してください。ピアルータで BGP が動作しているかどうかを確認してください。ピアルータが動作している場合は、ピアルータの restart-time の値を、ピアルータが復旧し接続できる時間まで延ばしてください。
85	bgp_restart_timeout: Peer <bgp name> [<description>]: Timed out waiting for End-Of-RIB marker from restart router.	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 該当するピアルータで BGP が動作しているかどうかを確認してください。動作している場合は、stalepath-time の値を延ばしてください。
86	bgp_peer_established: Peer <bgp name> [<description>]: connection established with graceful restart.	情報（自装置／相手装置） 該当ピアと BGP コネクションが再確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
87	bgp_receive_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker received from <bgp name> [(<description>)].	情報 (自装置) End-Of-RIB を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] なし。
88	bgp_send_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker sent to <bgp name> [(<description>)].	情報 (自装置) End-Of-RIB を送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 [対応] なし。
89	BGP: NOTIFICATION sent to <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング (相手装置) 該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <code> (<code string>), <subcode> (<subcode string>) エラーコード, エラーサブコード - エラーコード 1 (Message Header Error) - エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) - エラーサブコード 2 (bad length) - エラーサブコード 3 (bad message type) - エラーコード 2 (Open Message Error) - エラーサブコード 0 (unspecified error) - エラーサブコード 1 (unsupported version) - エラーサブコード 2 (bad AS number) - エラーサブコード 3 (bad BGP ID) - エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) - エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) - エラーコード 3 (Update Message Error) - エラーサブコード 1 (invalid attribute list) - エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) - エラーサブコード 3 (missing well known attribute) - エラーサブコード 4 (attribute flags error) - エラーサブコード 5 (bad attribute length) - エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) - エラーサブコード 9 (error with optional attribute) - エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) - エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) - エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) - エラーコード 5 (Finite State Machine Error) - エラーコード 6 (Cease) - 不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を, 不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 <value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value> 10 進表示 <data> 16 進表示

項番	メッセージテキスト	内容
		[対応] ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを調査してください。ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
90	BGP: NOTIFICATION received from <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング (自装置) 該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <code> (<code string>), <subcode> (<subcode string>) エラーコード, エラーサブコード - エラーコード 1 (Message Header Error) - エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) - エラーサブコード 2 (bad length) - エラーサブコード 3 (bad message type) - エラーコード 2 (Open Message Error) - エラーサブコード 0 (unspecified error) - エラーサブコード 1 (unsupported version) - エラーサブコード 2 (bad AS number) - エラーサブコード 3 (bad BGP ID) - エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) - エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) - エラーサブコード 7 (unsupported capability) - エラーコード 3 (Update Message Error) - エラーサブコード 1 (invalid attribute list) - エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) - エラーサブコード 3 (missing well known attribute) - エラーサブコード 4 (attribute flags error) - エラーサブコード 5 (bad attribute length) - エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) - エラーサブコード 7 (AS loop detected) - エラーサブコード 8 (invalid NEXT_HOP) - エラーサブコード 9 (error with optional attribute) - エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) - エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) - エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) - エラーコード 5 (Finite State Machine Error) - エラーコード 6 (Cease) - 不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を, 不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 <value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value> 10 進表示 <data> 16 進表示 [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを調査してください。
91	BGP:	ワーニング (相手装置)

項番	メッセージテキスト	内容
	No MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.>	BGP4 コネクションで受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていません。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1., 2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP: Invalid MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.>」の回数を含みません。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv4> 送信元 IPv4 アドレス <port no.> TCP ポート番号 <destination ipv4> 宛先 IPv4 アドレス [対応] 相手装置の BGP4 で MD5 認証が設定されているか調査してください。設定されていない場合は、MD5 認証の設定が一致するように設定してください。 設定が一致している場合は、送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
92	BGP: Invalid MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.>	ワーニング (自装置／相手装置) BGP4 コネクションで受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正です。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1., 2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP: No MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.>」の回数を含みません。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv4> 送信元 IPv4 アドレス <port no.> TCP ポート番号 <destination ipv4> 宛先 IPv4 アドレス [対応] 自装置と相手装置の BGP4 で MD5 認証キーが一致しているか調査してください。 MD5 認証キーが一致していない場合は、MD5 認証キーが一致するように設定してください。 MD5 認証キーが一致している場合は、送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
93	BGP: Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: reached <routes1>, limit <routes2>	ワーニング (相手装置) 該当ピアから学習した経路数 (アクティブ経路と非アクティブ経路の合計) が閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <routes1> ピアから学習した経路数 <routes2> ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は、ピアが広告する経路数を調査してください。
94	BGP:	ワーニング (相手装置)

項番	メッセージテキスト	内容
	Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: <routes1> exceed limit <routes2>	該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が上限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <routes1> ピアから学習した経路数 <routes2> ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。
95	BGP: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by maximum-prefix	情報（相手装置） 学習経路数の制限によって BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。ピアを再接続する場合は、ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから、clear ip bgp コマンドを入力してください。
96	BGP: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included attribute type code (0) [- AS Path (<as number>): <aspath>]	ワーニング（相手装置） 該当ピアからタイプコードが 0 のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信しました。 本運用メッセージは同一ピアにおいて前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <as number> AS 番号の数 <aspath> AS パス - AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

2.1.4 IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通

ユニキャストルーティング共通情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-4 ユニキャストルーティング共通イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	*** Give up gdump. Because of no enough memory.	ワーニング（自装置） dump protocols unicast コマンドによるユニキャストルーティングプログラムの制御情報ダンプ収集中に、システムのメモリ残量が一時的に既定値を下回ったため、ダンプ収集を中断しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コマンド実行するために必要な空きメモリが不足しています。収容条件を見直してください。

2.2 IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM)

IPv6 ルーティングプロトコルのイベント情報について説明します。

2.2.1 RIPng

IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-5 IPv6 ルーティングプロトコル (RIPng) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	ripng_recv: Bad metric (<metric>) for net <prefix> from <source address>	エラー (相手装置) 不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <metric> 経路情報のメトリック値 <prefix> 経路情報の宛先プレフィックス <source address> 送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
2	ripng_recv: Bad prefixlen (<pefixlen>) for net <prefix> from <source address>	エラー (相手装置) 不正なプレフィックス長を持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <pefixlen> 経路情報のプレフィックス長 <prefix> 経路情報の宛先 <source address> 送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
3	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> packet from <source address> - ignoring invalid version packet	エラー (相手装置) バージョンフィールドが不正のため、受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command> 受信メッセージタイプ • Request, Response <source address> 送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
4	ripng_recv: Packet hoplimit is <hop limit> hop limit must be 255.	エラー (相手装置) ホップリミットが不正なため、受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <hop limit> 受信ホップリミット [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
5	ripng_init: Old copy of rtm is running	エラー（自装置） すでにユニキャストルーティングプログラムが動作している可能性があります。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
6	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> from <source address> - source address is not link-local.	エラー（相手装置） ソースアドレスがリンクローカルアドレスではないため、受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command> 受信メッセージタイプ <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
7	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> from <source address> - source port is not valid.	エラー（相手装置） 不正なソースポートのため、受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command> 受信メッセージタイプ <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
8	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> packet from <source address> - invalid or not implemented command	エラー（相手装置） 無効または実装されていないコマンドのため、受信したパケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command> 受信メッセージタイプ <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
9	ripng_recv: Ignoring RIPng packet from <source address> - too short packet (<size>)	エラー（相手装置） RIPng ヘッダよりもパケット長が短いため、受信したパケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元ゲートウェイ <size> パケット長 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
10	ripng_recv: Ignoring RIPng request packet from <source address> - the routing entries of improper length	エラー（相手装置） 不正な長さの経路情報が含まれているため、受信した request パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
11	ripng_recv: Ignoring a routing entry of improper length - packet from <source address>	エラー（相手装置） 不正な長さの経路情報を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
12	RIPng: The total number of RIPng targets is more than the maximum permitted	エラー（自装置） RIPng ターゲット（隣接）の総数が最大許容数をオーバーしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 最大隣接ルータ数が収容条件を超えないように RIPng の設定を見直してください。

2.2.2 OSPFv3 【OS-L3A】

IPv6 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-6 IPv6 ルーティングプロトコル（OSPFv3）イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	OSPFv3 SENT <source address> (<interface name>) -> <destination address>: <error string>	ワーニング（自装置） OSPFv3 パケットの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <interface name> インタフェース名称 <destination address> 宛先 IPv6 アドレス <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
2	OSPFv3: Helper to adjacency <router id> failed because network topology is changed.	ワーニング（自装置／ネットワーク） トポロジー変更のため、ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID [対応] なし。
3	OSPFv3: Helper to adjacency <router id> failed because restart time is up.	情報（相手装置） リスタート待ち時間が経過したため、ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID [対応] 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。停止していない場合、隣接ルータのリスタート時間を調整してください。
4	OSPFv3 RECV [Area <area id>] RouterID <source id> [(<interface name>)] -> <destination address>: <log type>	ワーニング（自装置／相手装置） 受信した OSPFv3 パケットが不正です。 ただし、OSPFv3 インタフェースとして設定していないブロードキャスト型インタフェースから受信したマルチキャストパケットは、ログ採取せずに廃棄します。

項番	メッセージテキスト	内容
		[メッセージテキストの表示説明] <area id> エリア ID <source id> 送信元ルータ ID <interface name> インタフェース名称 <destination address> 宛先 IPv6 アドレス <log type> ログ種別 • IP: received my own packet • bad packet type • bad version • bad checksum • packet too small • packet size > ip length • unknown neighbor • area mismatch • bad virtual link • interface down • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion • DD: MTU mismatch • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad • LS UPD: Unknown LSA type [対応] ログ種別によって、対応が異なります。 • IP: received my own packet • bad packet type • bad version • bad checksum • packet too small • packet size > ip length 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPFv3）を調査してください。 • unknown neighbor Hello で認識していない隣接ルータから、Hello 以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • area mismatch • bad virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合、エリアの設定を修正してください。 それ以外は対応不要です。 • interface down なし。 • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch OSPFv3 インタフェースの設定を修正してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの設定を修正してください。

項番	メッセージテキスト	内容
		• HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の設定を修正してください。 • DD: MTU mismatch 隣接ルータと MTU 長が不一致であるため、経路情報の交換に失敗する場合があります。MTU 長を合わせてください。 • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad • LS UPD: Unknown LSA type 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPFv3) を調査してください。
5	OSPFv3: Conflict between LSDB <lsid> and route <prefix> /<prefixlen> - Export to OSPFASE Bypassed.	エラー (自装置) LSDB <lsid> と経路間で矛盾があります。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <lsid> LSA の LSID <prefix> 経路情報の宛先アドレス <prefixlen> 経路情報のプレフィックス長 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。
6	OSPFv3: Lost adjacency <router id> with interfaceID <id> (<interface name>) because no Hello received recently.	ワーニング (相手装置/ネットワーク) 隣接ルータから定期的送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置-隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <id> 隣接ルータのインタフェース ID <interface name> インタフェース名称 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔 (hellointerval) を短くし、Hello パケット最大許容受信間隔 (routerdeadinterval) を長くしてください。
7	OSPFv3: Lost adjacency <router id> with interfaceID <id> (<interface name>) because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング (相手装置/ネットワーク) 隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <id> 隣接ルータのインタフェース ID <interface name> インタフェース名称 [対応] 頻発する場合 Hello パケット送信間隔 (hellointerval)、Hello パケット最大許容受信間隔 (routerdeadinterval) を長くしてください。

項番	メッセージテキスト	内容
8	OSPFv3: Lost adjacency <router id1> with interfaceID <id> (<interface name>) due to bad LS Request (<lsid> <router id2> <ls type>).	エラー (相手装置)
		不正な LS リクエストによって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id1> 隣接ルータのルータ ID <id> 隣接ルータのインタフェース ID <interface name> インタフェース名称 <lsid> LSA の LSID <router id2> LSA の広告ルータ ID <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPFv3) を調査してください。
9	OSPFv3: Lost adjacency <router id> with interfaceID <id> (<interface name>) due to sequence mismatch <sequence1> versus <sequence2>)	ワーニング (自装置/相手装置)
		シーケンス (またはオプション) の不一致によって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <id> 隣接ルータのインタフェース ID <interface name> インタフェース名称 <sequence1> 制御データ上のシーケンス番号 <sequence2> DD メッセージ内のシーケンス番号 [対応] 頻発する場合は OSPFv3 パケット再送間隔 (retransmitinterval) を長くしてください。
10	OSPFv3: Adjacency <router id> interface <interface name> is established.	情報 (自装置/相手装置)
		OSPFv3 の隣接ルータとの接続に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id> 隣接ルータのルータ ID <interface name> インタフェース名称 [対応] なし。
11	OSPFv3: Checksum failed at LSA type <ls type> ID <lsid> adv-router <router id> in this system's LSDB that belongs to Area <area id>, Domain <domain id>.	エラー (自装置)
		LSDB のチェックサムが不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <ls type> LSA の LS タイプコード <lsid> LSA の LSID <router id> LSA の広告ルータ ID <area id> LSA のエリア ID <domain id> LSA の Domain_ID [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
12	OSPFv3: Recovered from stub router (in domain <domain id>).	情報 (自装置)
		スタブルータ動作を終了します。 [メッセージテキストの表示説明] <domain id> OSPFv3 の Domain ID [対応] なし。

2.2.3 BGP4+ 【OS-L3A】

IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-7 IPv6 ルーティングプロトコル (BGP4+) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	bgp4+_check_auth: Synchronization failure with BGP task <task name>	エラー (相手装置)
		BGP4+ タスクが受信したメッセージのヘッダマーカーの値が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <task name> BGP4+ タスク名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
2	bgp4+_trace: Unsupported BGP version <version>!!!	エラー (自装置)
		制御データ上の BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <version> 制御データ上の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
3	bgp4+_log_notify: Notify message received from <bgp name> [(<description>)] is truncated (length <length>)	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
4	bgp4+_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] blocked (no spooling requested): <error string>	ワーニング (自装置)
		ソケットバッファが一杯となったため該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 送信要求メッセージ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
5	bgp4+_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 送信要求メッセージ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
6	bgp4+_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)]: connection closed	ワーニング (自装置/相手装置/ネットワーク)
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 送信要求メッセージ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
7	bgp4+_send: sending to <bgp name> [(<description>)] looping: <error string>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
8	bgp4+_send_open: Internal error! peer <bgp name> [(<description>)], version <version>	エラー (自装置)
		該当ピアに送信する OPEN メッセージの BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <version> 送信メッセージ内の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
9	bgp4+_path_attr_error from <routine>: Update error subcode <code> (<error string>) for peer <bgp name> [(<description>)] detected. <length> bytes error data - 1st five:<error data>	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <routine> 内部ルーチン名称 <code> (<error string>) エラー要因 <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> エラーデータ長 <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
10	bgp4+_recv: Read from peer <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング (自装置)
		該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
11	bgp4+_recv: Peer <bgp name> [(<description>)]: Received unexpected EOF	ワーニング (自装置/相手装置/ネットワーク)
		コネクションの切断によって該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
12	bgp4+_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type> message arrived with length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <message type> 受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
13	bgp4+_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type1> arrived, expected <message type2> [or <message type2>]	エラー（相手装置） 該当ピアから状態に適切でないメッセージタイプのメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <message type1> 受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <message type2> 状態に適切なメッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
14	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Received short version <version> message (<length> octets)	エラー（相手装置） 該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <version> 受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
15	bgp4+_get_open: Received unsupported version <version> message from peer <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置） 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
16	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Hold time too small (<hold time>)	エラー（相手装置） 該当ピアからホールドタイムが 3 秒より小さい OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <hold time> 受信メッセージ内のホールドタイム [対応] ピアのコンフィグレーションを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
17	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Invalid BGP4+ identifier <router id>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正な BGP4+ 識別子の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <router id> 受信メッセージ内の BGP4+ 識別子 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
18	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Unsupported optional parameter <option>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <option> 受信メッセージ内のオプションコード [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
19	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] claims AS <as1>, <as2> configured	ワーニング（自装置／相手装置） 該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <as1> 受信メッセージの AS 番号 <as2> コンフィグレーション上のピアの AS 番号 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
20	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] accepted mismatched versions: Peer <version1> this system <version2>	ワーニング（相手装置） 該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態の KEEPALIVE メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <version1> 相手側の BGP バージョン番号 <version2> 自側の BGP バージョン番号 [対応] ピアが BGP4+ をサポートしているか調査してください。
21	bgp4+_pp_recv: No group for <bgpp name> found, dropping peer	ワーニング（自装置／相手装置） 設定されていないピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name> 送信元ピア名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
22	bgp4+_pp_recv: Rejecting connection from <bgp name> [(<description>)], peer in state <state>	ワーニング（相手装置／ネットワーク） Idle, OpenConfirm, Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <state> ピア状態 • Idle, OpenConfirm, Established [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定要因を調査してください。
23	bgp4+_pp_recv: Dropping <bgpp name> version <version>, <bgp name> [(<description>)] wants version 4	ワーニング（相手装置） 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>, <bgp name> 送信元ピア名称 <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを調査してください。
24	bgp4+_pp_recv: Peer <bgp name> [(<description>)] sent unexpected extra data, probably insane	エラー（相手装置） 該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
25	bgp4+_check_capability_match: Capability of peer <bgp name> [(<description>)] is unmatched	ワーニング（相手装置） 本装置に設定されている Capability の設定が、該当ピアに設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
26	bgp4+_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1> 送信要求データ長 <length2> 送信済データ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
27	bgp4+_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [(<description>)]: Connection closed	ワーニング (自装置／相手装置／ネットワーク) コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1> 送信要求データ長 <length2> 送信済データ長 <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を調査してください。
28	bgp4+_write_flush: Sending to <bgp name> [(<description>)] (sent <length1>, <length2> remain[s]) looping: <error string>	ワーニング (自装置) 該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <length1> 送信済データ長 <length2> 送信残データ長 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
29	bgp4+_peer_connected: task_get_addr_local(<bgp name> [(<description>)]): <error string>	ワーニング (自装置) 該当ピアへのコネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
30	bgp4+_connect_start: Peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv6 address> unavailable, connection failed	ワーニング (自装置) 該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが利用できない (バインド失敗) ためにコネクション接続が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <ipv6 address> ピアリングに使用するローカルアドレス [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
31	bgp4+_traffic_timeout: Holdtime expired for <bgp name> [(<description>)]	ワーニング (相手装置／ネットワーク) 該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
32	bgp4+_traffic_timeout: Error sending KEEPALIVE to <bgp name> [(<description>)]): <error string>	ワーニング (自装置) 該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
33	bgp4+_listen_accept: accept(<socket>): <error string>	ワーニング（自装置）
		コネクションの受付が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <socket> ソケットのディスクリプタ番号 <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
34	bgp4+_listen_accept: bgp4+_get_peer_if() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するリンクローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
35	bgp4+_listen_accept: task_get_addr_local() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
36	bgp4+_listen_start: Couldn't get BGP listen socket!!	エラー（自装置）
		コネクション接続のためのソケット生成に失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
37	bgp4+_listen_start: listen: <error string>	エラー（自装置）
		コネクションの受付準備が失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <error string> エラー要因 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
38	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] interface not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
39	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv6 address> not on shared net. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <ipv6 address> コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
40	bgp4+_pp_timeout: Peer <bgpp name> timed out waiting for OPEN	ワーニング（相手装置／ネットワーク） 該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
41	bgp4+_peer_init: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv6 address> not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置） 該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスに対するインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 <ipv6 address> コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。
42	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)]: Strange message header length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアからの受信メッセージはメッセージヘッダ内のメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージのヘッダのメッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
43	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] unrecognized message type <type>	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージはメッセージタイプが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <type> メッセージタイプ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
44	bgp4+_recv_update: Received OPEN message from <bgp name> [(<description>)], state is ESTABLISHED	ワーニング（相手装置／ネットワーク） ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は不安定要因を調査してください。
45	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE length <length> too small	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージ長が小さ過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
46	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable prefix length <length1> exceeds packet length <length2>	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がパケット長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 <length2> 受信パケット長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
47	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable prefix length <length> too long	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
48	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE prefix length <length1> exceeds unreachable prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超過しています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
49	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE zero attribute length followed by <length> bytes of garbage	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが、実体のデータが存在します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
50	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE path attribute length <length1> too large (<length2> bytes remaining)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性の長さより大き過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージのパス属性長 <length2> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
51	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no next hop found	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
52	bgp4+_recv_update: External peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included LOCALPREF attribute	エラー（相手装置） 該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性を含んでいます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
53	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no LOCALPREF attribute found	エラー（相手装置） 該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア番号 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
54	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE has path attributes but no reachable prefixes!	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っていますが、対応する経路情報を持っていません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
55	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] AS <as1> received path with first AS <as2>	エラー（相手装置） AS 番号 <as1> のピアから次ホップの AS 番号が <as2> の AS パスを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <as1> 送信元ピアの AS 番号 <as2> 受信メッセージ内の次ホップ AS 番号 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
56	bgp4+_recv_update: Ignores prefix from peer <bgp name> [(<description>)] in RFC-1771's NLRI field	ワーニング（相手装置） RFC2858 に従わないで RFC1771 に従ったフォーマットの経路情報を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
57	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
58	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop length	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
59	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
60	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No reserved	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。Reserved フィールドがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
61	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa length	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
62	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
63	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE multi-protocol prefix length <length1> exceeds prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が残データ量と比較して長すぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
64	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE multi-protocol prefix length <length> too long	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元のピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
65	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] bad next hop address length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアからの経路のネクストホップアドレス長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> ネクストホップアドレス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
66	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] next hop <ipv6 address> improper, ignoring routes in this update	エラー（相手装置） 該当ピアからの経路のネクストホップアドレスが同一ネットワーク上ありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <ipv6 address> ネクストホップアドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
67	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] unknown family/subfamily <family>/ <subfamily>	エラー（相手装置） 該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <family> アドレスファミリー <subfamily> サブアドレスファミリー [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
68	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_UNREACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
69	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE prefix length <length> exceeds unreachable multi-protocol prefix data remaining (<length> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長で残りの到達経路情報のデータ長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> ネクストホップアドレス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
70	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable multi-protocol prefix length <length> too long	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
71	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] unknown family/subfamily <family>/ <subfamily>	エラー（相手装置） 該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の非到達経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <family> アドレスファミリ <subfamily> サブアドレスファミリ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
72	bgp4+_peer_established: Peer <bgp name> [(<description>)] connection established	情報（自装置／相手装置） 該当ピアと BGP4+ コネクションが確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
73	bgp4+_ifachange: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing interface state	情報（自装置／相手装置） インタフェース状態の変化によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] インタフェースの状態変化要因を調査してください。
74	bgp4+_terminate: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by terminating bgp4+	情報（自装置） BGP4+ タスクの停止によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] BGP4+ タスク停止要因を調査してください。
75	bgp4+_peer_delete: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置） コンフィグレーション変更（ピア情報の削除）によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
76	bgp4+_init: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置） コンフィグレーションの変更によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
77	bgp4+_peer_clear: Peer <bgp name> [<description>]: Closed connection by clearing peer	情報（自装置）
		clear ipv6 bgp コマンドの投入によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
78	bgp4+_pp_recv: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
79	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
80	bgp4+_restart_timeout: Peer <bgp name> [<description>]: Timed out waiting for reconnect.	エラー（自装置／相手装置）
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] ピアルータと通信できるかどうかを確認してください。ピアルータで BGP4+ が動作しているかどうかを確認してください。ピアルータが動作している場合は、ピアルータの restart-time の値を、ピアルータが復旧し接続できる時間まで延ばしてください。
81	bgp4+_restart_timeout: Peer <bgp name> [<description>]: Timed out waiting for End-Of-RIB marker from restart router.	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 該当ピアルータで BGP4+ が動作しているかどうかを確認してください。動作している場合は、stalepath-time の値を延ばしてください。
82	bgp4+_peer_established: Peer <bgp name> [<description>]: connection established with graceful restart.	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP コネクションを再確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
83	bgp4+_receive_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker received from <bgp name> [(<description>)].	情報 (自装置) End-Of-RIB を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 [対応] なし。
84	bgp4+_send_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker sent to <bgp name> [(<description>)].	情報 (自装置) End-Of-RIB を送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 [対応] なし。
85	BGP4+: NOTIFICATION sent to <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング (相手装置) 該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信先ピア名称 <description> 送信先ピア description 名称 <code> (<code string>), <subcode> (<subcode string>) エラーコード, エラーサブコード - エラーコード 1 (Message Header Error) - エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) - エラーサブコード 2 (bad length) - エラーサブコード 3 (bad message type) - エラーコード 2 (Open Message Error) - エラーサブコード 0 (unspecified error) - エラーサブコード 1 (unsupported version) - エラーサブコード 2 (bad AS number) - エラーサブコード 3 (bad BGP ID) - エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) - エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) - エラーコード 3 (Update Message Error) - エラーサブコード 1 (invalid attribute list) - エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) - エラーサブコード 3 (missing well known attribute) - エラーサブコード 4 (attribute flags error) - エラーサブコード 5 (bad attribute length) - エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) - エラーサブコード 9 (error with optional attribute) - エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) - エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) - エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) - エラーコード 5 (Finite State Machine Error) - エラーコード 6 (Cease) - 不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を, 不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 <value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value> 10 進表示 <data> 16 進表示

項番	メッセージテキスト	内容
		[対応] ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを調査してください。ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合はピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
86	BGP4+: NOTIFICATION received from <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング (自装置) 該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <code> (<code string>), <subcode> (<subcode string>) エラーコード, エラーサブコード - エラーコード 1 (Message Header Error) - エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) - エラーサブコード 2 (bad length) - エラーサブコード 3 (bad message type) - エラーコード 2 (Open Message Error) - エラーサブコード 0 (unspecified error) - エラーサブコード 1 (unsupported version) - エラーサブコード 2 (bad AS number) - エラーサブコード 3 (bad BGP ID) - エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) - エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) - エラーサブコード 7 (unsupported capability) - エラーコード 3 (Update Message Error) - エラーサブコード 1 (invalid attribute list) - エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) - エラーサブコード 3 (missing well known attribute) - エラーサブコード 4 (attribute flags error) - エラーサブコード 5 (bad attribute length) - エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) - エラーサブコード 7 (AS loop detected) - エラーサブコード 8 (invalid NEXT_HOP) - エラーサブコード 9 (error with optional attribute) - エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) - エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) - エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) - エラーコード 5 (Finite State Machine Error) - エラーコード 6 (Cease) - 不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を, 不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 <value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value> 10 進表示 <data> 16 進表示 [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを調査してください。
87	BGP4+:	ワーニング (相手装置)

項番	メッセージテキスト	内容
	No MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.>	BGP4+ コネクションで受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていません。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1., 2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP4+: Invalid MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.>」の回数を含みます。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv6> 送信元 IPv6 アドレス <port no.> TCP ポート番号 <destination ipv6> 宛先 IPv6 アドレス [対応] 相手装置の BGP4+ で MD5 認証が設定されているか調査してください。設定されていない場合は、MD5 認証の設定が一致するように設定してください。 設定が一致している場合は、送信元 BGP4+ ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
88	BGP4+: Invalid MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.>	ワーニング (自装置／相手装置) BGP4+ コネクションで受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正です。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1., 2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP4+: No MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.>」の回数を含みます。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv6> 送信元 IPv6 アドレス <destination ipv6> 宛先 IPv6 アドレス <port no.> TCP ポート番号 [対応] 自装置と相手装置の BGP4+ で MD5 認証キーが一致しているか調査してください。 MD5 認証キーが一致していない場合は、MD5 認証キーが一致するように設定してください。 MD5 認証キーが一致している場合は、送信元 BGP4+ ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
89	BGP4+: Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: reached <routes1>, limit <routes2>	ワーニング (相手装置) 該当ピアから学習した経路数 (アクティブ経路と非アクティブ経路の合計) が閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <routes1> ピアから学習した経路数 <routes2> ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は、ピアが広告する経路数を調査してください。
90	BGP4+:	ワーニング (相手装置)

項番	メッセージテキスト	内容
	Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: <routes1> exceed limit <routes2>	該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が上限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <routes1> ピアから学習した経路数 <routes2> ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。
91	BGP4+: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by maximum-prefix	情報（相手装置） 学習経路数の制限によって BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 接続先ピア名称 <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。 ピアを再接続する場合は、ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから、clear ipv6 bgp コマンドを入力してください。
92	BGP4+: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included attribute type code (0) [- AS Path (<as number>): <aspath>]	ワーニング（相手装置） 該当ピアからタイプコードが 0 のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信しました。 本運用メッセージは同一ピアにおいて前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name> 送信元ピア名称 <description> 送信元ピア description 名称 <as number> AS 番号の数 <aspath> AS パス - AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。

2.2.4 IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通

「2.1.4 IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通」を参照してください。

2.3 IPv6 ルーティング情報 (RTM)

2.3.1 RA

IPv6 ルーティング情報 (RTM) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-8 IPv6 ルーティング (RA) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	rs_input: Cannot locate interface for RS from <address1> to <address2>	エラー (自装置) 受信したルータ要求に対応するインタフェースを見つけることができないので、そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <address1> ルータ要求送信元アドレス <address2> ルータ要求宛先アドレス [対応] 頻繁に出る場合は、そのインタフェースの状態を調査してください。
2	rs_input: ND option check failed for an RS from <address> on <interface name>	エラー (相手装置) 該当アドレスからのルータ要求に対する ND オプションチェックに失敗したので、そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <address> ルータ要求送信元アドレス <interface name> ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求送信元端末で、ルータ要求の設定を調査してください。
3	rs_input: RS from unspecified src on <interface name> has a link-layer address option	エラー (相手装置) 未指定アドレス (::) からのルータ要求にリンクレイヤアドレスオプションが設定されているので、そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求送信元端末で、ルータ要求の設定を調査してください。
4	rs_input: RS received on non advertising interface(<interface name>)	ワーニング (自装置) ルータ広告を行わないインタフェースでルータ要求を受信したので、そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] そのルータ要求に応答する必要がある場合は、そのインタフェースでルータ広告を有効にしてください。
5	rs_input: RS with invalid hop limit (<hop limit>) received from <address> on <interface name>	エラー 受信したルータ要求パケットのホップリミットが正しい値 (255) ではないため、ルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <hop limit> 受信ルータ要求メッセージホップリミット値 <address> ルータ要求送信元アドレス <interface name> ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	rs_input: RS with invalid ICMP6 code(<code>) received from <address> on <interface name>	エラー 受信したルータ要求パケットの ICMP6 コードが正しい値 (0) ではない ため、ルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <code> 受信ルータ要求メッセージ ICMP6 コード値 <address> ルータ要求送信元アドレス <interface name> ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
7	rs_input: RS from <address> on <interface name> does not have enough length (len = <length>)	エラー 受信したルータ要求パケットが短いため、ルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <address> ルータ要求送信元アドレス <interface name> ルータ要求受信インタフェース名称 <length> 受信ルータ要求パケット長 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
8	ra_nd6_options: bad ND option length(0) (type = <type>)	エラー (相手装置) ND オプションの長さが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <type> 受信した ND オプションタイプ番号 [対応] 付随して出力される rs_input, ra_input のエラーの対応をしてください。
9	ra_output: Cannot send RA for I/F <interface name> (lack of active linklocal addr)	エラー (自装置) 該当するインタフェースに有効なリンクローカルアドレスが存在しない ので、ルータ広告が送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> ルータ広告送信インタフェース名称 [対応] 頻繁に発生する場合は、そのインタフェースの状態を確認してください。
10	ra_output: Cannot send RA for I/F <interface name>	エラー (自装置) 該当するインタフェースよりルータ広告が送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> ルータ広告送信インタフェース名称 [対応] 頻繁に発生する場合は、そのインタフェースの状態を確認してください。
11	ra_output: not send RA for I/F <interface name> (linkmtu <value own> is greater than the physical interface MTU <phymtu>)	ワーニング (自装置) 該当インタフェースの MTU 長を超える値を指定しているので、ルータ 広告は出力されません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> ルータ広告送信インタフェース名称 <value own> 自装置の MTU オプション値 <phymtu> 該当インタフェースの物理 MTU 長 [対応] ルータ広告を送信するルータの設定を調査してください。

2.4 IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP)

2.4.1 PIM-SM

IPv4 ルーティング情報 (MRP) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-9 IPv4 マルチキャストルーティング (PIM-SM) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	IGMP: received packet too short (<length> bytes) for IP header	エラー (相手装置) IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 受信サイズ [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
2	IGMP: received packet (<length1> bytes) from <source address> shorter than header + data length (<length2> + <length3> bytes)	エラー (相手装置) IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1> 受信サイズ <source address> 送信元 IPv4 アドレス <length2> 受信した IP ヘッダのサイズ <length3> 受信した IP パケットのデータサイズ [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
3	IGMP: received IP data field too short (<length> bytes) for IGMP header, from <source address> to <destination address>	エラー (相手装置) IGMP ヘッダ長 (8) より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 受信した IP パケットのデータサイズ <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
4	IGMP: ignoring packet from <source address> to <destination address> - invalid igmp header checksum (data '<data>', length '<length>')	エラー (相手装置) IGMP ヘッダのチェックサムエラーによって、受信 IGMP パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <data> IGMP 受信データの先頭 1 バイト (パケット種別) の内容 <length> IGMP 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
5	IGMP: ignoring <packet> from <source address> to <destination address> - invalid group address '<group address>'	エラー（相手装置）
		パケット内のグループアドレスが不正のため、受信 IGMP パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Group Membership Report", "Group Leave Report" <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <group address> 受信グループアドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
6	IGMP: Querier was changed on interface <interface name> - new querier <querier ip address> (was <old querier ip address>)	イベント（自装置）
		インタフェース上で、Querier ルータが変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> インタフェース名 <querier ip address> Querier IPv4 アドレス <old querier ip address> 前回の Querier IPv4 アドレス [対応] なし。
7	PIM: received packet too short (<length> bytes) for IP header	エラー（相手装置）
		IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 受信サイズ [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム (PIM-SM) を調査してください。
8	PIM: received packet (<length1> bytes) from <source address> shorter than header + data length (<length2> + <length3> bytes)	エラー（相手装置）
		IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1> 受信サイズ <source address> 送信元 IPv4 アドレス <length2> 受信した IP ヘッダのサイズ <length3> 受信した IP パケットのデータサイズ [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム (PIM-SM) を調査してください。
9	PIM: received IP data field too short (<length> bytes) for PIM header, from <source address> to <destination address>	エラー（相手装置）
		PIM ヘッダ長 (4) より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length> 受信した IP パケットのデータサイズ <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム (PIM-SM) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
10	PIM: ignoring packet from <source address> to <destination address> - invalid pim header checksum (data '<data>', length '<length>')	エラー（相手装置） PIM ヘッダのチェックサムエラーによって、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <data> PIM 受信データの先頭バイト（パケット種別）の内容 <length> PIM 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
11	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - packet too short (<length> bytes)	エラー（相手装置） パケットサイズが最小パケット長より小さいため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Register", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <length> PIM 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
12	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - invalid encoded unicast address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディングユニキャストアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <cause> 詳細要因 • address family '<value>' アドレスファミリー <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>' エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • source address '<address>' 送信元 IPv4 アドレス <address> が不正 • upstream neighbor address '<address>' 上流隣接 IPv4 アドレス <address> が不正 • BSR address '<address>' BSR アドレス <address> が不正 • RP address '<address>' ランデブーポイントアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
13	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - invalid encoded source address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディング送信元 IPv4 アドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Join/Prune" <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <cause> 詳細要因 • address family '<value>' アドレスファミリー <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>' エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
14	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - invalid encoded group address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディンググループアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <cause> 詳細要因 • address family '<value>' アドレスファミリー <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>' エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • mask length '<value>' グループマスク長 <value> が不正（4 以上 32 以下ではない） • group address '<address>' グループアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
15	PIM: ignoring Hello message from <source address> - invalid holdtime option length (<length>)	エラー（相手装置） Hello パケット内の holdtime オプション長が不正（2 以外）のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <length> 受信 holdtime オプション長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
16	PIM: ignoring Hello message from <source address> - no holdtime option	エラー（相手装置） Hello パケット内に holdtime オプションがないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
17	PIM: ignoring Register message from <source address> to <destination address> - invalid inner source address '<inner source address>'	エラー（相手装置） Register パケットでカプセル化された IP パケットの送信元 IPv4 アドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <inner source address> カプセル化内送信元 IPv4 アドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
18	PIM: ignoring Register message from <source address> to <destination address> - invalid inner group address '<inner group address>'	エラー（相手装置） Register パケットでカプセル化された IP パケットのグループアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <inner group address> カプセル化内グループアドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。 カプセル化内グループアドレスが PIM-SSM の範囲に含まれる場合、相手装置の PIM-SSM 設定を調査してください。
19	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> to <destination address> - invalid hash mask length '<value>'	エラー（相手装置） Bootstrap パケット内のハッシュマスク長が不正（33 以上）のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv4 アドレス <destination address> 宛先 IPv4 アドレス <value> 受信パケットに設定されたハッシュマスク長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
20	PIM: BSR information was changed - lost BSR information	ワーニング（相手装置） Bootstrap ルータからの広告がなくなったため、BSR 情報をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Bootstrap ルータからの広告がなくなった要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
21	PIM: BSR information was changed · new BSR address <ip address>	イベント（自装置） BSR アドレスが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> BSR アドレス BSR アドレスが本装置の場合は、IPv4 アドレスの後に "(this system)" が表示されます。 [対応] なし。

2.5 IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6)

2.5.1 IPv6 PIM-SM

IPv6 ルーティング情報 (MR6) のイベント情報を次の表に示します。

表 2-10 IPv6 マルチキャストルーティング (PIM-SM) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	MLD: ignoring <packet> from <source address> - invalid scope <group address>	エラー (相手装置)
		MLD パケットに含まれるグループアドレスが不適切なスコープ (ノードローカル, リンクローカル) のため, MLD パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Multicast Listener Query", "Multicast Listener Report", "Multicast Listener Done", "MLDv2 Multicast Listener Report" <source address> 送信元 IPv6 アドレス <group address> MLD グループアドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
2	MLD: ignoring <packet> from <source address> - message received from a non linklocal address	エラー (相手装置)
		非リンクローカルアドレスをソースに持つ MLD パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Multicast Listener Query" <source address> 送信元 IPv6 アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
3	MLD: Querier was changed on interface <interface name> - new querier <querier ipv6 address> (was <old querier ipv6 address>)	イベント (自装置)
		インタフェース上で, Querier ルータが変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> インタフェース名 <querier ipv6 address> Querier IPv6 アドレス • Querier IPv6 アドレスが本装置の場合は, "(this system)" を表示します。 <old querier ipv6 address> 前回の Querier IPv6 アドレス • 前回の Querier IPv6 アドレスが本装置の場合は, "(this system)" を表示します。 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
4	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - packet too short (<length> bytes)	エラー（相手装置） パケットサイズが最小パケット長より小さいため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Hello", "Register", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address> 送信元 IPv6 アドレス <length> PIM 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム (IPv6 PIM-SM) を調査してください。
5	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - invalid encoded unicast address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディングユニキャストアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Hello", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address> 送信元 IPv6 アドレス <cause> 詳細要因 • address family '<value>' アドレスファミリー <value> が不正 (2 以外) • encoding type '<value>' エンコーディングタイプ <value> が不正 (0 以外) • source address '<address>' 送信元アドレス <address> が不正 • upstream neighbor address '<address>' 上流隣接アドレス <address> が不正 • BSR address '<address>' BSR アドレス <address> が不正 • RP address '<address>' ランデブーポイントアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム (IPv6 PIM-SM) を調査してください。
6	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - invalid encoded source address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディングソースアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Join/Prune" <source address> 送信元 IPv6 アドレス <cause> 詳細要因 • address family '<value>' アドレスファミリー <value> が不正 (2 以外) • encoding type '<value>' エンコーディングタイプ <value> が不正 (0 以外) [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム (IPv6 PIM-SM) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
7	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - invalid encoded group address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディンググループアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet> パケット種別 • "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address> 送信元 IPv6 アドレス <cause> 詳細要因 • address family '<value>' アドレスファミリ <value> が不正（2 以外） • encoding type '<value>' エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • mask length '<value>' グループマスク長 <value> が不正（8 以上 128 以下でない） • group address '<address>' グループアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
8	PIM: ignoring Hello message from <source address> - invalid holdtime option length (<length>)	エラー（相手装置） Hello パケット内の holdtime オプション長が不正（2 以外）のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <length> 受信 holdtime オプション長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
9	PIM: ignoring Hello message from <source address> - no holdtime option	エラー（相手装置） Hello パケット内に holdtime オプションがないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
10	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner source address '<inner source address>'	エラー（相手装置） Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのソースアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <inner source address> カプセル化内送信元アドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
11	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner source address scope '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットの送信元アドレスの スコープが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <inner source address> カプセル化内送信元アドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
12	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner group address '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのグループアドレ スが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <inner group address> カプセル化内グループアドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
13	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner group address scope '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのグループアドレ スのスコープが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <inner group address> カプセル化内グループアドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
14	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner IP version '<version>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのバージョンが 6 ではないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <version> カプセル化内 IP パケットバージョン [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
15	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> - invalid hash mask length '<value>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内のハッシュマスク長が不正（129 以上）のため、 受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <value> 受信パケットに設定されたハッシュマスク長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
16	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> - invalid BSR address '<ipv6 address>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内の BSR アドレス不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <ipv6 address> BSR アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
17	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> - cannot find a route to the BSR(<ipv6 address>)	ワーニング（自装置）
		Bootstrap パケット内の BSR アドレスへのユニキャスト経路が見つからないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <ipv6 address> BSR アドレス [対応] Bootstrap パケット内の BSR アドレスへの経路が存在するか確認してください。
18	PIM: ignoring Candidate-RP-Advertisement message from <source address> - non global address(<ipv6 address>) as RP	エラー（相手装置）
		Candidate-RP-Advertisement パケット内に含まれるランデブーポイントアドレスが不正なため、受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address> 送信元 IPv6 アドレス <ipv6 address> ランデブーポイントアドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
19	PIM: BSR information was changed - lost BSR information	ワーニング（相手装置）
		Bootstrap ルータからの広告がなくなったため、BSR 情報をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Bootstrap ルータからの広告がなくなった要因を調査してください。
20	PIM: BSR information was changed - new BSR address <ipv6 address>	イベント（自装置）
		BSR アドレスが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv6 address> BSR アドレス BSR アドレスが本装置の場合は、IPv6 アドレスの後に "(this system)" が表示されます。 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
21	PIM: Add interface <interface name> to the output interface list of (S,G)=(<source address>, <group address>)	イベント（自装置） マルチキャストルーティングキャッシュ（S,G）の出力インタフェースリストにインタフェース <interface name> を追加しました（本メッセージは syslog にだけ出力されます）。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> インタフェース名 <source address> 送信元 IPv6 アドレス <group address> IPv6 グループアドレス [対応] なし。
22	PIM: Delete interface <interface name> from the output interface list of (S,G)=(<source address>, <group address>)	イベント（自装置） マルチキャストルーティングキャッシュ（S,G）の出力インタフェースリストからインタフェース <interface name> を削除しました（本メッセージは syslog にだけ出力されます）。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> インタフェース名 <source address> 送信元 IPv6 アドレス <group address> IPv6 グループアドレス [対応] なし。

3

装置関連の障害およびイベント情報

この章では、装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明します。装置関連の障害およびイベント情報は、すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって、イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると、指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

3.1 コンフィグレーション

3.2 アクセス

3.3 プロトコル

3.4 装置の各部位

3.5 ポート

3.6 オプション機構

3.1 コンフィグレーション

3.1.1 イベント発生部位 = CONFIG

イベント発生部位 = CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-1 イベント発生部位 = CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	CONFIG	09300001	0100	This system started with the default configuration file. because the startup configuration file is not found or broken.
スタートアップコンフィグレーションファイルがない、または読み込めないため、デフォルト設定情報で運用を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. コンフィグレーションファイルを待避している場合は copy コマンドを使用し、保存しているコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルに反映してください。 2. コンフィグレーションファイルを待避していない場合は、新しくコンフィグレーションファイルを作成してください。					
2	E3	CONFIG	09300002	0100	Configuration command syntax error. line <line number> : "<error syntax>"
スタートアップコンフィグレーションファイルで構文誤りを検出したのでランニングコンフィグレーションへの反映をスキップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <line number> 対象のコンフィグレーションコマンドの行番号 <error syntax> 対象のコンフィグレーションコマンドの構文 [対応] 確認だけしてください。					
3	E3	CONFIG	09300007	0100	Configuration edit status forcedly finished.
コンフィグレーションの状態を編集可能状態から編集終了状態に強制的に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションコマンドモードにいる全ユーザをコンフィグレーションコマンドモードから exit した後、再度編集を開始してください。					
4	E3	CONFIG	09300008	0100	Cannot set the automatic setting configuration command. :<command>
コンフィグレーションコマンドの自動設定に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <command> コマンド名 [対応] 該当コマンドを手動で設定してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
5	E3	CONFIG	09600006	0100	Configuration access management error. process<process name>:pid<process id>:time <time>
コンフィグレーションに長時間アクセスしているプロセスがいたため、ロックを解放し自動的に復旧しました。 [メッセージテキストの表示説明] <process name> 発生プロセス名 <process id> 発生プロセス ID <time> 発生時刻 (曜日 月 日 時:分:秒 年) [対応] なし。					

3.2 アクセス

3.2.1 イベント発生部位 = ACCESS

イベント発生部位 =ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-2 イベント発生部位 =ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	ACCESS	00000001	0201 0205	Unknown host address <ip address>.
telnet または ftp で接続しようとしたますが、<ip address> からの接続を許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] 1. 本装置に対して不正なアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセス）が行われた可能性があります。IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが <ip address> のリモートホストをチェックしてください。 2. <ip address> からのリモートアクセスを許可している場合はコンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションをチェックしてください。 3. <ip address> からのリモートアクセスを許可したい場合はコンフィグレーションでアクセス許可の指定を行ってください。					
2	E3	ACCESS	00000002	0201 0205	Login incorrect <user name>.
<user name> のアカウントでログインしようとしたますが、ログインを許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <user name> ユーザ名 [対応] 1. 本装置に対してコンソールまたはコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセス（アカウント、パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。コンソールまたはコンフィグレーションで許可したリモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. 本装置に adduser コマンドにより登録済みのアカウントかどうかを確認してください。 （確認方法：ls /usr/home でホームディレクトリがあるか確認）					
3	E3	ACCESS	00000003	0201 0205	Login refused for too many users logged in.
telnet で接続しようとしたますが、ログインユーザ数をオーバーしたため、接続を許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 現在ログインしているユーザ数を確認してください。 2. 必要であれば、コンフィグレーションでログインできるユーザ数の制限を増加させてください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
4	E3	ACCESS	00005002	0200	Login <user name> from <host> (<term>). ユーザがログインしました。 [メッセージテキストの表示説明] <user name> ユーザ名 <host> ホスト識別子 ・ リモート運用端末の場合：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス ・ コンソール端末の場合：console <term> 端末名 ・ リモート運用端末の場合：tty0 ～ ・ コンソール端末の場合：tty00 [対応] なし。
5	E3	ACCESS	00005003	0200	Logout <user name> from <host> (<term>). ユーザがログアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <user name> ユーザ名 <host> ホスト識別子 ・ リモート運用端末の場合：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス ・ コンソール端末の場合：console <term> 端末名 ・ リモート運用端末の場合：tty0 ～ ・ コンソール端末の場合：tty00 [対応] なし。
6	E3	ACCESS	00010001	0204	SNMP agent program received packet from <ip address> with unexpected community name <community name>. SNMP エージェントは、<ip address> から、期待していないコミュニティ名 <community name> のパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス <community name> コミュニティ名 [対応] 本装置に対してコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャ以外からアクセスが行われました。このメッセージは、SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名がコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名と一致していない場合に出力します。本装置にアクセスする SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名が <ip address> と <community name> に一致しているかコンフィグレーションを確認してください。一致していない場合、不正なアクセスが行われている可能性があります。<ip address> の SNMP マネージャに対して、アクセスしないよう SNMP マネージャの管理者に連絡してください。 本装置では不正な IP アドレスまたはコミュニティからのアクセスに対して、運用ログの連続出力を抑制しています。最大 16 個の不正アクセス IP アドレス情報を保持し、保持されている IP アドレスからの不正アクセスログは 128 回に 1 回出力します。

3.2 アクセス

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
7	E3	ACCESS	00030001	0201 0205 0208 0209	Local authentication succeeded.
ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、ローカル認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
8	E3	ACCESS	00030002	0201 0205 0208 0209	Local authentication failed.
ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、ローカル認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。					
9	E3	ACCESS	00030003	0201 0205 0208 0209	RADIUS authentication accepted from <host>.
ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、RADIUS 認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] なし。					
10	E3	ACCESS	00030004	0201 0205 0208 0209	RADIUS authentication rejected from <host>. "<message>"
ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、RADIUS 認証を行いましたが、RADIUS サーバによって否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 <message> RADIUS サーバからの応答メッセージ [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. RADIUS サーバの設定を確認してください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
11	E3	ACCESS	00030005	0201 0205 0208 0209	RADIUS server (<host>) didn't response.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、RADIUS 認証を行おうとしましたが、RADIUS サーバが応答を返しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. RADIUS サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. RADIUS サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバが起動していることを確認してください。 4. RADIUS サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。
12	E3	ACCESS	00030006	0201 0205 0208 0209	RADIUS server configuration not defined.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、RADIUS 認証を行おうとしましたが、RADIUS サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. RADIUS コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS コンフィグレーションで、acct-only が指定され認証が抑止されていないか確認してください。
13	E3	ACCESS	00030007	0201 0205 0208 0209	Invalid response received from <host>.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、RADIUS/TACACS+ 認証を行いましたが、RADIUS/TACACS+ サーバからの応答が不正でした。 [メッセージテキストの表示説明] <host> RADIUS/TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] RADIUS/TACACS+ 鍵が本装置と RADIUS/TACACS+ サーバ間で一致していることを確認してください。
14	E3	ACCESS	00030008	0201 0205 0208 0209	RADIUS authentication failed.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、RADIUS 認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージの他に RADIUS 認証に関する運用ログが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。

3.2 アクセス

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
15	E3	ACCESS	0003000a	0201 0205 0208 0209	Can't communicate with RADIUS server (<host>).
RADIUS サーバと通信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. RADIUS サーバまでの経路があることを確認してください。 2. RADIUS サーバをホスト名で指定している場合は、名前解決ができることを確認してください。					
16	E3	ACCESS	0003000b	0201 0208	RADIUS authorization response with no contents.
RADIUS コマンド承認を行いました、RADIUS サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RADIUS サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に Class, Alaxala-Allow-Commands, Alaxala-Deny-Commands が正しく設定されていることを確認してください。					
17	E3	ACCESS	00030013	0201 0205 0208 0209	TACACS+ authentication accepted from <host>.
ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、TACACS+ 認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <host> TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] なし。					
18	E3	ACCESS	00030014	0201 0205 0208 0209	TACACS+ authentication rejected from <host>.
ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、TACACS+ 認証を行いました、TACACS+ サーバにより否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host> TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. 本ログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって、本ログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. TACACS+ サーバの設定を確認してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
19	E3	ACCESS	00030015	0201 0205 0208 0209	TACACS+ server (<host>) didn't response.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、TACACS+ 認証、コマンド承認（TACACS+ コンフィグレーションでコマンド承認指定ありの場合）を行おうとしましたが、TACACS+ サーバが応答を返しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <host> TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。
20	E3	ACCESS	00030016	0201 0205 0208 0209	TACACS+ server configuration is not defined.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、TACACS+ 認証を行おうとしましたが、TACACS+ サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. TACACS+ コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. TACACS+ コンフィグレーションで、acct-only が指定され認証が抑止されていないか確認してください。
21	E3	ACCESS	00030018	0201 0205 0208 0209	TACACS+ authentication failed.
					ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し、TACACS+ 認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 他に TACACS+ 認証に関する運用ログが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。
22	E3	ACCESS	0003001a	0201 0205 0208 0209	Can't communicate with TACACS+ server (<host>).
					TACACS+ サーバと通信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <host> TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバまでの経路があることを確認してください。 2. TACACS+ サーバをホスト名で指定している場合は、名前解決ができることを確認してください。 3. TACACS+ サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 4. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。 5. TACACS+ サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。

3.2 アクセス

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
23	E3	ACCESS	0003001b	0201 0208	TACACS+ authorization response with no contents. TACACS+ コマンド承認を行いました。TACACS+ サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に class, allow-commands, deny-commands が正しく設定してあることを確認してください。
24	E3	ACCESS	0003001c	0201 0208	TACACS+ authorization rejected from <host>. TACACS+ コマンド承認を行いました。TACACS+ サーバにより否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host> TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）の service 名が正しいことを確認してください。 2. TACACS+ サーバ側のその他の設定を確認してください。
25	E3	ACCESS	0003001d	0201 0208	Local authorization response with no contents. ローカルコマンド承認を行いました。ユーザ名とそれに対応したコマンドクラスまたはコマンドリストの設定がありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ローカルログインで認証されたユーザに、コマンドクラス（username view-class）またはコマンドリスト（username view・parser view・commands exec）の設定が正しく設定されていることを確認してください。

3.3 プロトコル

3.3.1 イベント発生部位 = IP

イベント発生部位 = IP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-3 イベント発生部位 = IP の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E4	IP	26000001	0600	The ARP entry can't be registered at hardware tables. (<ipv4 address>)
ARP エントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address> ハードウェアテーブルに設定できなかった ARP エントリの IPv4 アドレス [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって、IP アドレスの組み合わせによっては収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
2	E4	IP	26000002	0600	The ARP entry can't be deleted from hardware tables.
ARP エントリがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。					
3	E4	IP	26000003	0600	The NDP entry can't be registered at hardware tables. (<ipv6 address>)
NDP エントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv6 address> ハードウェアテーブルに設定できなかった NDP エントリの IPv6 アドレス [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって、IPv6 アドレスの組み合わせによっては収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
4	E4	IP	26000004	0600	The NDP entry can't be deleted from hardware tables.
NDP エントリがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。					
5	E4	IP	26000005	0600	IPv4 unicast routing information can't be registered at hardware tables. (<ipv4 prefix>/<masklen>)
IPv4 ユニキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 prefix> ハードウェアテーブルに設定できなかった IPv4 ユニキャストルーティングテーブルエントリ <masklen> 上記 IPv4 ユニキャストルーティングテーブルエントリのサブネットマスク長 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって、IP アドレスによっては収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					

3.3 プロトコル

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E4	IP	26000006	0600	IPv4 unicast routing information can't be deleted from hardware tables.
	IPv4 ユニキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
7	E4	IP	26000007	0600	IPv4 multicast routing information can't be registered at hardware tables. (Source:<ipv4 address> Group:<ipv4 address>)
	IPv4 マルチキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address> ハードウェアテーブルに設定できなかった IPv4 マルチキャストルーティングテーブルエントリの発信元 IPv4 アドレスとグループアドレス [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって、IP アドレスによっては収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
8	E4	IP	26000008	0600	IPv4 multicast routing information can't be deleted from hardware tables.
	IPv4 マルチキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
9	E4	IP	26000009	0600	IPv6 unicast routing information can't be registered at hardware tables. (<ipv6 prefix>/<prefixlen>)
	IPv6 ユニキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv6 prefix> ハードウェアテーブルに設定できなかった IPv6 ユニキャストルーティングテーブルエントリ <prefixlen> 上記 IPv6 ユニキャストルーティングテーブルエントリのプレフィックス長 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって、IPv6 アドレスによっては収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
10	E4	IP	2600000a	0600	IPv6 unicast routing information can't be deleted from hardware tables.
	IPv6 ユニキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
11	E4	IP	2600000b	0600	IPv6 multicast routing information can't be registered at hardware tables. (Source:<ipv6 address> Group:<ipv6 address>)
					IPv6 マルチキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv6 address> ハードウェアテーブルに設定できなかった IPv6 マルチキャストルーティングテーブルエントリの発信元アドレスとグループアドレス [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって、IPv6 アドレスによっては収容条件の最大数まで設定できない場合があります。
12	E4	IP	2600000c	0600	IPv6 multicast routing information can't be deleted from hardware tables.
					IPv6 マルチキャストルーティングテーブルエントリがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。
13	E4	IP	2600000d	0600	The IP configuration to VLAN (<vlan id>) can't be registered at hardware tables.
					VLAN (<vlan id>) への IP のコンフィグレーションがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> IP のコンフィグレーションを設定した VLAN ID [対応] 1. VLAN ID を変更してください。 2. 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアが採用しているキャッシュの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。
14	E4	IP	50000003	0600	Duplication of IPv4 address <ipv4 address> with the node of MAC address <mac address> was detected.
					IPv4 アドレス <ipv4 address> が、MAC アドレス <mac address> を持つ装置と競合しています。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address> 本装置のインタフェースに設定した IPv4 アドレス <mac address> 上記 IPv4 アドレスとの重複を検出した装置の MAC アドレス [対応] 1. 自 IPv4 アドレスまたは MAC アドレス <mac address> を持つ装置の IPv4 アドレスを変更してください。 2. VRRP 使用時、CPU の負荷が高い状況では、本メッセージが頻発する場合があります。その場合には、該当 VRRP を構成している装置間で、VRRP コンフィグレーションの timers advertise の値を大きくしてください。
15	E4	IP	50000006	0600	The number of pieces of the ARP entry exceeds the capacity of this system.
					ARP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージが頻発する場合は、次に示す対応を行ってください。 1. arp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear arp-cache コマンドを実行し、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し、ARP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
16	E4	IP	50000013	0600	The number of pieces of the IPv4 unicast routing information exceeds the capacity of this system.
					IPv4 ユニキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IPv4 ユニキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、IPv4 ユニキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。 3. 1, 2 を実施した上で、clear ip route コマンドに * パラメータを指定して実行してください。
17	E4	IP	51000006	0600	The number of pieces of the IPv4 Multicast Routing entry exceeds the capacity of this system.
					IPv4 マルチキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IPv4 マルチキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、IPv4 マルチキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。
18	E4	IP	60000002	0600	The number of pieces of the NDP entry exceeds the capacity of this system.
					NDP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージが頻発する場合は、次に示す対応を行ってください。 1. ndp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear ipv6 neighbors コマンドを実行し、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し、NDP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。
19	E4	IP	60000003	0600	Duplication of IPv6 address <ipv6 address> with the node of MAC address <mac address> was detected.
					アドレス重複検出処理で IPv6 アドレスの重複を検出しました。本装置に設定した <ipv6 address> が、<mac address> の装置と競合しています。自装置の <ipv6 address> は使用不能となります。使用不能状態となった IPv6 アドレスは変更もしくは削除後、再設定するまで使用できなくなります。アドレス重複により使用不能となっているアドレスは、show ipv6 interface コマンドで確認してください。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv6 address> アドレス重複検出によって使用不能となった本装置のインタフェースの IPv6 アドレス <mac address> アドレス重複検出によって検出されたアドレスが重複している装置の MAC アドレス [対応] 1. 本装置に設定した <ipv6 address> が誤っている場合は、本装置の <ipv6 address> を変更してください。 2. 他装置の <ipv6 address> が誤っている場合は、競合している他装置の <ipv6 address> を修正してください。その後、本装置の <ipv6 address> を削除し、再設定してください。 3. VRRP 使用時、CPU の負荷が高い状況では、本メッセージが頻発する場合があります。その場合には、該当 VRRP を構成している装置間で、VRRP コンフィグレーションの timers advertise の値を大きくしてください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
20	E4	IP	60000008	0600	The number of pieces of the IPv6 unicast routing information exceeds the capacity of this system.
					IPv6 ユニキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IPv6 ユニキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、IPv6 ユニキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。 3. 1, 2 を実施した上で、clear ipv6 route コマンドに * パラメータを指定して実行してください。
21	E4	IP	61000005	0600	The number of pieces of the IPv6 Multicast Routing entry exceeds the capacity of this system.
					IPv6 マルチキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IPv6 マルチキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、IPv6 マルチキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。

3.3.2 イベント発生部位 = VLAN

イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-4 イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	VLAN	20110002	0700	STP(<mode>): This bridge becomes the Root Bridge.
					本装置がルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。
2	E3	VLAN	20110003	0700	STP(<mode>): This bridge becomes the Designated Bridge.
					本装置が指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
3	E3	VLAN	20110006	0700	STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(<nif no.>/<port no.>).
	ルートポートのBPDUタイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよびVLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) およびMSTインスタンスID <nif no.>/<port no.> NIF番号/ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
4	E3	VLAN	20110007	0700	STP(<mode>): Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(<nif no.>/<port no.>).
	トポロジ変更BPDUを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよびVLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.> NIF番号/ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
5	E3	VLAN	20110011	0700	STP(<mode>): Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(<nif no.>/<port no.>).
	PortFast機能を設定しているポートでBPDUを受信したため、スパニングツリー対象ポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよびVLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.> NIF番号/ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
6	E3	VLAN	20110012	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(ChGr:<channel group number>).
	ルートポートのBPDUタイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよびVLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) およびMSTインスタンスID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
7	E3	VLAN	20110013	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(ChGr:<channel group number>).
トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。					
8	E3	VLAN	20110014	0700	STP (<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(ChGr:<channel group number>).
PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、スパニングツリー対象ポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。					
9	E3	VLAN	20110022	0700	STP : Cleared MAC Address Table entry.
トポロジ変更 BPDU を受信したため、MAC Address Table のエントリをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
10	E3	VLAN	20110023	0700	STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(<nif no.>/<port no.>).
代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。					

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	VLAN	20110024	0700	STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(<nif no.>/<port no.>).
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
12	E3	VLAN	20110025	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(ChGr:<channel group number>).
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
13	E3	VLAN	20110026	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(ChGr:<channel group number>).
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
14	E3	VLAN	20110027	0700	STP(MST): This bridge becomes the CIST Root Bridge.
	本装置が CIST ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
15	E3	VLAN	20110028	0700	STP(CIST): This bridge becomes the CIST Regional Root Bridge.
					本装置が CIST 内部ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
16	E3	VLAN	20110029	0700	STP(MST Instance <mst instance id>): This bridge becomes the MSTI Regional Root Bridge.
					本装置が MSTI 内部ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mst instance id> MST インスタンス ID [対応] なし。
17	E3	VLAN	20110031	0700	STP(CIST): This bridge becomes the CIST Regional Designated Bridge.
					本装置が CIST 内部指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
18	E3	VLAN	20110032	0700	STP(MST Instance <mst instance id>): This bridge becomes the MSTI Regional Designated Bridge.
					本装置が MSTI 内部指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mst instance id> MST インスタンス ID [対応] なし。
19	E3	VLAN	21100001	0700	IGMP snooping: IGMP querier changed on VLAN <vlan id> - lost IGMP querier address <ipv4 address>.
					VLAN <vlan id> 上の IGMP クエリア <ipv4 address> からの広告 (IGMPQuery) がなくなったため、IGMP クエリア情報を削除しました。IPv4 マルチキャストグループメンバー (受信ホスト) の有無を正しく確認できないため、IPv4 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] 1. IGMP クエリア <ipv4 address> との接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21100002 である IGMP クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. IGMP クエリアとの接続が確認できない場合は、コンフィグレーションコマンド ip igmp snooping querier を実行して本装置の IGMP クエリア機能を有効にしてください。
20	E3	VLAN	21100002	0700	IGMP snooping: IGMP querier changed on VLAN <vlan id> - new IGMP querier address <ipv4 address>.
					VLAN <vlan id> 上に新たな IGMP クエリアを確認したため、IGMP クエリアを <ipv4 address> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] なし。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
21	E3	VLAN	21100003	0700	IGMP snooping: IPv4 address not defined on VLAN <vlan id>,IGMP querier function stopped.
VLAN <vlan id> 上の IGMP クエリアは IPv4 アドレスが設定されていないため停止しています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID [対応] 1. 該当 VLAN に IPv4 アドレスを設定してください。 2. show igmp-snooping コマンドを使用し、該当 VLAN に設定した IPv4 アドレスが表示されるか確認してください。					
22	E3	VLAN	21100004	0700	IGMP snooping:The number of the IGMP snooping entry exceeded the capacity of this system.
IGMP snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件（最大 500）を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を超えているので、エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。					
23	E3	VLAN	20110042	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(VLID:<link id>).
ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。					
24	E3	VLAN	20110043	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(VLID:<link id>).
トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
25	E3	VLAN	20110044	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(VLID:<link id>). 代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。
26	E3	VLAN	20110045	0700	STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(VLID:<link id>). バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。
27	E3	VLAN	20130019	0700	MAC Address Table entry cleared, because flush request received on port <port list>, Source MAC address <mac address>. Flush Request フレームを受信し、MAC アドレステーブルをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <port list> ポート番号の範囲 <mac address> フレーム送信元の装置 MAC アドレス [対応] なし。
28	E3	VLAN	21200001	0700	MLD snooping: MLD querier changed on VLAN <vlan id> - lost MLD querier address <ipv6 address>. VLAN <vlan id> 上の MLD クエリア <ipv6 address> からの広告 (MLD Query) がなくなったため、MLD クエリア情報を削除しました。IPv6 マルチキャストグループリスナ (受信ホスト) の有無を正しく確認できないため、IPv6 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <ipv6 address> IPv6 アドレス [対応] 1. MLD クエリア <ipv6 address> との接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21200002 である MLD クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. MLD クエリアとの接続が確認できない場合は、コンフィグレーションコマンド ipv6 mld snooping querier を実行して本装置の MLD クエリア機能を有効にしてください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
29	E3	VLAN	21200002	0700	MLD snooping: MLD querier changed on VLAN <vlan id> - new MLD querier address <ipv6 address>.
VLAN <vlan id> 上に新たな MLD クエリアを確認したため、MLD クエリアを <ipv6 address> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <ipv6 address> IPv6 アドレス [対応] なし。					
30	E3	VLAN	21200003	0700	MLD snooping: IPv6 address not defined on VLAN <vlan id>, MLD querier function stopped.
VLAN <vlan id> 上の MLD クエリアは IPv6 アドレスが設定されていないため停止しています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID [対応] 1. 該当 VLAN に IPv6 アドレスを設定してください。 2. show mld-snooping コマンドを使用し、該当 VLAN に設定した IPv6 アドレスが表示されるか確認ください。					
31	E3	VLAN	21200004	0700	MLD snooping: The number of the MLD snooping entry exceeded the capacity of this system.
MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件（最大 500）を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を超えているので、エントリ数を削減できるようにシステム構成や設定を見直してください。					
32	E3	VLAN	2510001b	0700	Sum of number of VLAN on ports exceeded capacity.
ポートごとの VLAN 数の合計が装置の収容条件を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次に示す処置のどれかを行ってください。 • ポートごとの VLAN 数の合計が収容条件内のコンフィグレーションファイルを copy コマンドで running-config ファイルに反映してください。 • ポートごとの VLAN 数の合計を収容条件内に変更し、restart vlan コマンドを実行してください。 • ポートごとの VLAN 数の合計を収容条件内に変更し、装置を再起動してください。					
33	E4	VLAN	20110008	0700	STP(<mode>): Port status becomes Forwarding on the port(<nif no.>/<port no.>).
ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチプルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
34	E4	VLAN	20110009	0700	STP(<mode>): Port status becomes Blocking on the port(<nif no.>/<port no.>). ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。
35	E4	VLAN	20110010	0700	STP(<mode>): Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(<nif no.>/<port no.>). BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、ポートを DOWN させました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST マルチブルスパニングツリー <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
36	E4	VLAN	20110015	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(ChGr:<channel group number>). ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
37	E4	VLAN	20110016	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<channel group number>). ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
38	E4	VLAN	20110017	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(ChGr:<channel group number>).
BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、ポートを DOWN させました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST マルチプルスパニングツリー <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。					
39	E4	VLAN	20110037	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(<nif no.>/<port no.>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.
アクセスポート、プロトコルポート、MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q VLAN Tag が付いた BPDU を受信したため、Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。					
40	E4	VLAN	20110038	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<channel group number>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.
アクセスポート、プロトコルポート、MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q VLAN Tag が付いた BPDU を受信したため、Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。					
41	E4	VLAN	20110039	0700	STP : Exceeded the number of the maximum spanning tree.
スパニングツリーで収容できるツリー数を超えました。今後はツリーの追加ができません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ネットワーク構成を見直すか、シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
42	E4	VLAN	20110040	0700	STP(<mode>): Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(<nif no.>/<port no.>).
					ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため、Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。
43	E4	VLAN	20110041	0700	STP(<mode>): Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(ChGr:<channel group number>).
					ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため、Blocking にします。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。
44	E4	VLAN	20110047	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(VLID:<link id>).
					ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] なし。
45	E4	VLAN	20110048	0700	STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(VLID:<link id>).
					ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> スパニングツリー種別 • single シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id> PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST マルチブルスパニングツリー (CIST) • MST Instance <mst instance id> マルチブルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <link id> 仮想リンク ID [対応] なし。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
46	E4	VLAN	21100005	0700	The IGMP snooping entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).
IGMP snooping エントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <mac address> MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
47	E4	VLAN	21200005	0700	The MLD snooping entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).
MLD snooping エントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <mac address> MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
48	E4	VLAN	25100001	0700	VLAN (<vlan id>) Status is Up.
VLAN 状態が UP 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID [対応] なし。					
49	E4	VLAN	25100002	0700	VLAN (<vlan id>) Status is Down.
VLAN 状態が DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID [対応] VLAN に属している各回線の状態を確認してください。					
50	E4	VLAN	25100005	0700	The mac-address-table static entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).
mac-address-table static コンフィグレーションによるエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <mac address> MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
51	E4	VLAN	25100006	0700	The VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<vlan id> MAC address:<mac address>).
VLAN MAC アドレスエントリがハードウェアに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <mac address> MAC アドレス [対応] システム構成を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
52	E4	VLAN	25100007	0700	Protocol based VLAN (<vlan id>) registration failed on the port(<nif no.>/<port no.>).
プロトコル VLAN を設定できませんでした。ポートに設定済みのプロトコルを指定しているほかの VLAN を重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] システム構成を見直してください。					
53	E4	VLAN	25100008	0700	VLAN (<vlan id>) vlan-mac registration failed.
vlan-mac の設定に失敗しました。vlan-mac に設定できる VLAN 数が収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id> VLAN ID [対応] システム構成を見直してください。					
54	E4	VLAN	25100021	0700	The vlan-protocol <protocol name> registration failed on the VLAN <vlan id>.
プロトコル VLAN へのプロトコルの設定が失敗しました。ポートに設定済みのプロトコルを重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <protocol name> 追加しようとしたプロトコル名称 <vlan id> VLAN ID [対応] システム構成を見直してください。					
55	E4	VLAN	25100022	0700	Protocol <frame type> registration failed on the vlan-protocol <protocol name>.
VLAN プロトコル用のプロトコル値の設定が失敗しました。ポートに設定済みのプロトコルを重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <frame type> 追加しようとしたプロトコルのフレーム種別 • ethertype <hex> EthernetV2 形式フレームの EtherType 値 • llc <hex> 802.3 形式フレームの LLC 値 (DSAP, SSAP) • snap-ethertype <hex> 802.3 形式フレームの EtherType 値 <protocol name> プロトコル名称 [対応] システム構成を見直してください。					

3.3.3 イベント発生部位 = VLAN (Ring Protocol)

イベント発生部位 =VLAN (Ring Protocol) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-5 イベント発生部位 =VLAN (Ring Protocol) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	VLAN	20170001	0700	AXRP <ring id> : activated state monitoring.
					Ring Protocol の状態監視を開始しました。このメッセージは、Ring Protocol の初期化が完了した場合、および Ring Protocol のコンフィギュレーションの動作モードをマスタモードに設定した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
2	E3	VLAN	20170002	0700	AXRP <ring id> : detected fault recovery by receiving health check frames.
					Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しました。このメッセージは、マスタノードでヘルスチェックフレームを受信し、障害復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
3	E3	VLAN	20170003	0700	AXRP <ring id> : cleared MAC address table by receiving flush request frames.
					フラッシュ制御フレームを受信し、MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは、出力先がリングポートである MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
4	E3	VLAN	20170005	0700	AXRP <ring id> : cleared MAC address table by timeout of forwarding-shift-timer.
					forwarding-shift-time のタイムアウトによって、MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは、トランジットノードで forwarding-shift-time によってタイムアウトを検出し、MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
5	E3	VLAN	20170014	0700	AXRP(virtual-link <link id>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.
					Ring Protocol で仮想リンクのフラッシュ制御フレームを受信し、MAC アドレステーブルエントリをクリアしました。このメッセージは、すべてのリングポートで学習している MAC アドレステーブルエントリをクリアします。 [メッセージテキストの表示説明] <link id> 仮想リンク ID [対応] なし。

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
6	E3	VLAN	20170016	0700	AXRP <ring id> : detected fault recovery by receiving health check frames, but suspended the fault recovery process.
					Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しましたが、設定によって経路の切り戻しが抑止されました。このメッセージは、マスタノードで障害復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] コンフィグレーションコマンド preempt-delay で指定した抑止時間のタイムアウトを待つか、clear axrp preempt-delay コマンドで手動で経路切り戻し抑止状態を解除してください。
7	E3	VLAN	20170017	0700	AXRP <ring id> : canceled the suspension of the fault recovery process.
					Ring Protocol の経路切り戻し抑止状態の解除が実行されました。このメッセージは、マスタノードで経路切り戻し抑止中に経路切り戻し抑止状態が解除された場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
8	E3	VLAN	20170018	0700	AXRP <ring id> : activated multi fault state monitoring.
					Ring Protocol の多重障害監視を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
9	E3	VLAN	20170019	0700	AXRP <ring id> : detected multi fault recovery by receiving multi fault detection frames.
					Ring Protocol の多重障害監視で多重障害の復旧を検出しました。このメッセージは、共有ノードで多重障害監視フレームを受信して多重障害の復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
10	E3	VLAN	20170021	0700	AXRP (multi-fault-detection <ring id>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.
					多重障害用のフラッシュ制御フレームを受信し、MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは、多重障害監視を適用しているリング ID に対応したリングポートの MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] なし。
11	E4	VLAN	20170004	0700	AXRP <ring id> : detected fault by health check timeout.
					Ring Protocol の状態監視で障害を検出しました。このメッセージは、マスタノードでヘルスチェックタイムアウトを検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] 該当リング内のリンクまたはノードに障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
12	E4	VLAN	20170020	0700	AXRP <ring id> : detected multi fault by multi fault detection timeout.
Ring Protocol の多重障害監視で多重障害を検出しました。このメッセージは、共有ノードで多重障害監視機能がタイムアウトを検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id> リング ID [対応] 該当リング内で多重障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。					

3.3.4 イベント発生部位 = VLAN (GSRP)

イベント発生部位 =VLAN (GSRP) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-6 イベント発生部位 =VLAN (GSRP) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	VLAN	20130002	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Backup.
GSRP の状態がバックアップへ遷移しました。このメッセージは、GSRP の初期化が完了した場合、GSRP のコンフィギュレーションの backup-lock を削除した場合または GSRP 装置が対向装置を認識していない状態で Master 状態の時に restart vlan コマンドを実行した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
2	E3	VLAN	20130003	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the number of active ports was more than neighbor's.
自装置のアクティブポート数が隣接の GSRP スイッチより多かったため、GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
3	E3	VLAN	20130004	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the priority was higher than neighbor's.
自装置のプライオリティが隣接の GSRP スイッチより高かったため、GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
4	E3	VLAN	20130005	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the MAC address was larger than neighbor's.
自装置の MAC アドレスが隣接の GSRP スイッチより大きかったため、GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
5	E3	VLAN	20130008	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the number of active ports was less than neighbor's.
自装置のアクティブポート数が隣接の GSRP スイッチより少なかったため、GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
6	E3	VLAN	20130009	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the priority was lower than neighbor's.
自装置のプライオリティが隣接の GSRP スイッチより低かったため、GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
7	E3	VLAN	20130010	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the MAC address was smaller than neighbor's.
自装置の MAC アドレスが隣接の GSRP スイッチより小さかったため、GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
8	E3	VLAN	20130013	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : advertise timeout detected on Master.
GSRP Advertise フレームの受信タイムアウトを検出しました。このメッセージは GSRP の状態がマスタの場合だけ出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており、動作していることを確認してください。また、現在の GSRP の状態をコンフィグレーション、および運用コマンドで確認してください。					

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
9	E3	VLAN	20130015	0700	GSRP aware : MAC Address Table entry cleared, because GSRP flush request received on port <port list>, GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> Source MAC address <mac address>.
GSRP flush request フレームを受信し、MAC Address Table をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <port list> ポート番号の範囲 <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID <mac address> MAC アドレス [対応] なし。					
10	E3	VLAN	20130017	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> VLAN id <vlan id> : removed from vlan-group, because configuration is a disagreement, Ring protocol and GSRP.
Ring Protocol との併用時に、Ring Protocol と GSRP の構成不一致によって、該当 VLAN が vlan-group の対象外になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID <vlan id> VLAN ID [対応] Ring Protocol の vlan-mapping と GSRP の vlan-group の内容が一致するように構成を変更してください。					
11	E4	VLAN	20130006	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because "set gsrp master" command was executed.
set gsrp master コマンドの実行により、GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					
12	E4	VLAN	20130007	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the direct link failure was detected.
ダイレクトリンク障害を検出したため、GSRP の状態がマスタへ遷移しました。このメッセージは GSRP のコンフィグレーションコマンド no-neighbor-to-master に direct-down パラメータを設定していた場合に、GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）のときにダイレクトリンクのダウンを検出したことにより、マスタへ遷移する際出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
13	E4	VLAN	20130011	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Backup(No Neighbor).
					GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）へ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており、動作していることを確認してください。また、現在の GSRP の状態をコンフィグレーション、および運用コマンドで確認してください。
14	E4	VLAN	20130012	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Backup(No Neighbor) to Backup.
					GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）からバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。
15	E4	VLAN	20130014	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : advertise timeout detected on Backup(Lock).
					GSRP Advertise フレームの受信タイムアウトを検出しました。このメッセージは GSRP の状態がバックアップ（ロック）の場合だけ出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており、動作していることを確認してください。また、現在の GSRP の状態をコンフィグレーション、および運用コマンドで確認してください。
16	E4	VLAN	20130016	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the double Master detected.
					自装置、および隣接装置の GSRP の状態が共にマスタであることを検出したため、マスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく動作しているか確認してください。また、現在の GSRP の状態をコンフィグレーション、および運用コマンドで確認してください。
17	E4	VLAN	20130018	0700	GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because forced shift time was expired.
					自動マスタ遷移待ち時間の設定時間を経過したことによって、GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id> GSRP グループ ID <vlan group id> VLAN グループ ID [対応] なし。

3.3.5 イベント発生部位 = VLAN (L2 ループ検知)

イベント発生部位 =VLAN (L2 ループ検知) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-7 イベント発生部位 =VLAN (L2 ループ検知) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E4	VLAN	20800001	0700	L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) inactivated because of loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).
					ループ障害を検出したため、ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
2	E4	VLAN	20800002	0700	L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) inactivated because of loop detection from ChGr(<channel group number>).
					ループ障害を検出したため、ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
3	E4	VLAN	20800003	0700	L2LD : ChGr(<channel group number>) inactivated because of loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).
					ループ障害を検出したため、ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
4	E4	VLAN	20800004	0700	L2LD : ChGr(<channel group number>) inactivated because of loop detection from ChGr(<channel group number>).
					ループ障害を検出したため、ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
5	E4	VLAN	20800005	0700	L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).
					ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
6	E4	VLAN	20800006	0700	L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) loop detection from ChGr(<channel group number>).
ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。					
7	E4	VLAN	20800007	0700	L2LD : ChGr(<channel group number>) loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).
ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。					
8	E4	VLAN	20800008	0700	L2LD : ChGr(<channel group number>) loop detection from ChGr(<channel group number>).
ループ障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。					
9	E4	VLAN	20800009	0700	L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.
L2 ループ検知機能の自動復旧によって、ポートの inactive 状態を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。					
10	E4	VLAN	20800010	0700	L2LD : ChGr(<channel group number>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.
L2 ループ検知機能の自動復旧によって、ポートの inactive 状態を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
11	E4	VLAN	20800011	0700	L2LD : L2loop detection frame cannot be sent in the port where capacity was exceeded.
L2 ループ検知フレームを送信できるポート数が収容条件を超えています。収容条件を超えたポートで L2 ループ検知フレームを送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2 ループ検知フレームを送信するポート数を減らしてください。					

3.3.6 イベント発生部位 = VLAN (CFM)

イベント発生部位 = VLAN (CFM) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-8 イベント発生部位 =VLAN (CFM) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E4	VLAN	20900003	0700	MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of OtherCCM in MEP <mepid>.
					該当 MEP で障害 (OtherCCM) を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level> ドメインレベル <no.> MA 識別番号 <mepid> MEP ID [対応] 対向装置を同一 MA として認識していません。 ドメインレベル, MA 識別番号, ドメイン名称, MA 名称が対向装置と一致しているか確認してください。
2	E4	VLAN	20900004	0700	MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of ErrorCCM in MEP <mepid>.
					該当 MEP で障害 (ErrorCCM) を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level> ドメインレベル <no.> MA 識別番号 <mepid> MEP ID [対応] 対向装置と構成が一致していません。 MEP ID が対向装置と異なっているか, 送信間隔 (interval) が対向装置と一致しているか確認してください。
3	E4	VLAN	20900005	0700	MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of Timeout in MEP <mepid>.
					該当 MEP で障害 (Timeout) を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level> ドメインレベル <no.> MA 識別番号 <mepid> MEP ID [対応] 対向装置から CCM を受信していません。 ネットワークの状態を確認してください。
4	E4	VLAN	20900006	0700	MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of PortState in MEP <mepid>.
					該当 MEP で障害 (PortState) を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level> ドメインレベル <no.> MA 識別番号 <mepid> MEP ID [対応] 対向装置の回線障害またはポートのブロッキング状態を検出しました。 対向装置の状態を確認してください。
5	E4	VLAN	20900007	0700	MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of RDI in MEP <mepid>.
					該当 MEP で障害 (RDI) を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level> ドメインレベル <no.> MA 識別番号 <mepid> MEP ID [対応] 対向装置で障害を検出しています。 対向装置の状態を確認してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
6	E4	VLAN	20900008	0700	Exceeded the number of the maximum port.
MEP と MIP を設定できるポート数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 設定数を確認してください。					

3.3.7 イベント発生部位 = MAC

イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-9 イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	MAC	20120005	0800	Channel Group(<channel group number>) disabled administratively.
コンフィグレーションによってチャンネルグループは運用停止に指定されました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
2	E3	MAC	20120006	0800	Channel Group(<channel group number>) enabled administratively.
コンフィグレーションによってチャンネルグループは運用停止を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
3	E3	MAC	20120007	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Partner System ID is detected.
LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の System ID がポート間で一致しなかったためチャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 以下を確認してください。 1. 相手装置と正しく接続しているか 2. 相手装置の System ID 設定は正しいか					

3.3 プロトコル

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E3	MAC	20120008	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Partner Key is detected.
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の Key がポート間で一致しなかったためチャンネルグループから離脱しました。 【メッセージテキストの表示説明】 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 【対応】 以下を確認してください。 1. 相手装置と正しく接続しているか 2. 相手装置の Key 設定は正しいか				
5	E3	MAC	20120009	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) removed from Channel Group(<channel group number>).
	コンフィグレーションのリンク削除によりチャンネルグループから離脱しました。 【メッセージテキストの表示説明】 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 【対応】 なし。				
6	E3	MAC	20120010	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Port down.
	回線が DOWN 状態になりチャンネルグループから離脱しました。 【メッセージテキストの表示説明】 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 【対応】 回線の状態を確認してください。				
7	E3	MAC	20120011	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Port data rate.
	速度の異なる回線がチャンネルグループ内に存在し、速度の遅い回線をチャンネルグループから離脱しました。 【メッセージテキストの表示説明】 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 【対応】 離脱された回線に関し、本装置および相手装置の設定状態を確認してください。				
8	E3	MAC	20120012	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Half-duplex port.
	半二重で動作中の回線をチャンネルグループから離脱しました。 【メッセージテキストの表示説明】 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 【対応】 離脱された回線に関し、本装置および相手装置の設定状態を確認してください。				

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
9	E3	MAC	20120013	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Denied by the LACP partner.
					LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて、LACP により相手装置から接続拒否されチャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 相手装置の設定を確認してください。
10	E3	MAC	20120014	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - LACPDU timeout.
					LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて、相手装置からの LACPDU を受信せずタイムアウトによりチャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 相手装置の設定、active 状態を確認してください。
11	E3	MAC	20120015	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Configuration is changed.
					コンフィグレーション変更によりチャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
12	E3	MAC	20120016	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Port moved is detected.
					チャンネルグループ内でポートが移動したことにより、チャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
13	E3	MAC	20120017	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Aggregation bit is FALSE.
					LACP モードで相手装置のアグリゲーションビットが FALSE のため、チャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
14	E3	MAC	20120018	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Port number is changed.
相手装置のポート番号が変更したため、チャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
15	E3	MAC	20120019	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Port priority is changed.
相手装置のポート優先度値が変更したため、チャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
16	E3	MAC	20120020	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Operation of detach port limit.
離脱ポート制限により、チャンネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
17	E3	MAC	20120021	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) added to Channel Group(<channel group number>).
チャンネルグループにポートが追加されました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					
18	E3	MAC	20120022	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) attached to Channel Group(<channel group number>).
チャンネルグループにポートが集約されました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
19	E3	MAC	20120023	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) attached to Channel Group(<channel group number>) - A standby port became active.
					スタンバイリンクによる運転を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。
20	E3	MAC	20120024	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - This port became a standby port.
					スタンバイリンクによる運転を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。
21	E4	MAC	20120002	0800	Channel Group(<channel group number>) is Up.
					チャネルグループが UP 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。
22	E4	MAC	20120003	0800	Channel Group(<channel group number>) is Down - All port detached.
					チャネルグループ内のすべてのポートが離脱されチャネルグループが DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し、以下を確認してください。 1. 回線が DOWN していないか 2. 回線が半二重になっていないか 3. 相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か
23	E4	MAC	20120004	0800	Channel Group(<channel group number>) is Down - The number of the detached port exceeded the configured number.
					チャネルグループ内の離脱ポート数が設定された制限を超えてチャネルグループが DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し、以下を確認してください。 1. 回線が DOWN していないか 2. 回線が半二重になっていないか 3. 相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か

3.4 装置の各部位

3.4.1 イベント発生部位 = SOFTWARE

イベント発生部位 = SOFTWARE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-10 イベント発生部位 = SOFTWARE の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	SOFTWARE	00003001	1000	System restarted due to abort reset operation.
	装置が再起動されました。要因は RESET スイッチ押下です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
2	E3	SOFTWARE	00003002	1000	System restarted due to default reset operation.
	装置が再起動されました。要因はデフォルトスイッチ押下です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	SOFTWARE	00003003	1000	System restarted due to fatal error detected by software.
	致命的障害をソフトウェアが検出し装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
4	E3	SOFTWARE	00003004	1000	System restarted due to user operation.
	装置が再起動されました。要因は reload コマンドです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	SOFTWARE	00003005	1000	System restarted due to fatal error detected by kernel.
	致命的障害をカーネルが検出し装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
6	E3	SOFTWARE	00003006	1000	System restarted due to WDT timeout.
装置が再起動されました。要因は WDT（ウォッチドッグタイマ）タイムアウトです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。					
7	E3	SOFTWARE	00003007	1000	System restarted due to hardware error detected by kernel.
装置が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。					
8	E3	SOFTWARE	00003008	1000	System restarted due to hardware error detected.
装置が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。					
9	E3	SOFTWARE	00003301	1000	CPU congestion detected.
CPU で処理するパケットの輻輳を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 本メッセージに同期して、ほかの障害およびイベントを示すメッセージ（レイヤ 2 プロトコルや IPv4 / IPv6 ルーティングプロトコルに関する障害およびイベントを示すメッセージなど）が発生している場合は、そのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. ping, telnet などの自装置宛てパケットやブロードキャスト、マルチキャストパケットを大量に受信した場合、本メッセージが出力されることがあります。なお、ブロードキャスト、マルチキャストパケットについては、ハードウェアで中継しつつ CPU でも処理されます。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 上記 3 で回復しない場合、マニュアル「トラブルシューティングガイド」の CPU で処理するパケットの輻輳が回復しない場合の記述を参照して対応してください。					
10	E3	SOFTWARE	00003302	1000	CPU has recovered from congestion.
CPU が輻輳から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
11	E3	SOFTWARE	00003303	1000	Received many packets and loaded into the queue to CPU.
CPU へのキューに多数の受信パケットが積まれました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。ただし、本メッセージが頻発して出力される場合は、以下を確認してください。 1. ping, telnet などの自装置宛てパケットやブロードキャスト、マルチキャストパケットを大量に受信していないか確認してください。ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 2. ネットワーク構成が複雑すぎる可能性があります。ネットワーク構成を見直してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	SOFTWARE	00003304	1000	Processed the packets in the queue to CPU.
	CPU へのキューに積まれたパケットは処理されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
13	E3	SOFTWARE	00008601	1001	NTP lost synchronization with <ip address>.
	NTP サーバ <ip address> との同期状態が失われました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] show ntp associations コマンドで NTP の状態を確認してください。 同期が取れていない状態が継続するようであれば、NTP コンフィグレーションと NTP サーバの動作状況、通信可否を確認してください。				
14	E3	SOFTWARE	00008602	1001	NTP detected an invalid packet from <ip address>.
	NTP サーバ <ip address> からの不正なパケットを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] NTP サーバを確認してください。				
15	E3	SOFTWARE	00008603	1001	NTP could not find the server which synchronize with.
	同期できる NTP サーバがありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NTP コンフィグレーションと NTP サーバの動作状況、通信可否を確認してください。				
16	E3	SOFTWARE	01200187	1001	The temperature logging file can't be written.
	温度ロギング情報の書き込みに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 内蔵フラッシュメモリのユーザ領域を確認してください。 2. 空き領域が不足している場合は、不要なファイルを削除して空き領域（約 8kB）を確保してください。				
17	E3	SOFTWARE	01700501	1001	Statistics table initialized.
	装置の時刻が変更されたため、CPU 使用率を保持している統計情報テーブルを初期化しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
18	E3	SOFTWARE	01700502	1001	CPU overloaded. There is the possibility of software failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.
ユーザコマンド入力に対する応答か、SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。CPU が過負荷状態である可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。					
19	E3	SOFTWARE	01700503	1001	There is the possibility of software failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.
ユーザコマンド入力に対する応答か、SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。					
20	E3	SOFTWARE	01900250	1001	Software started up.
ソフトウェアの起動を開始しました。 本ログは UTC 時間で採取されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
21	E3	SOFTWARE	01910201	1001	System started collecting new "error.log".
種別ログを新規に採取し始めました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
22	E3	SOFTWARE	01910202	1001	System restarted by user operation.
ユーザ操作による装置再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
23	E3	SOFTWARE	01910203	1001	System restarted after hardware reset.
リセットスイッチによる装置再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
24	E3	SOFTWARE	02002010	1001	System failed switching to admin mode.
	MIB Set 時の Admin mode への変更に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 他の管理者が admin になっています。show sessions コマンドで、ログインユーザおよび admin ユーザを確認してください。				
25	E3	SOFTWARE	02002012	1001	Specified MIB doesn't exist, or it does not have read/write attribute.
	設定した MIB は存在しないか、または、read/write 属性の MIB ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し、設定した MIB が read/write 属性であることを確認してください。				
26	E3	SOFTWARE	02002013	1001	Incorrect instance value specified.
	MIB Set 時に設定したインスタンス値は、正しくありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] インスタンス値を確認して設定してください。				
27	E3	SOFTWARE	02002014	1001	MIB value specified was out of range.
	MIB Set 時に MIB 値を、設定範囲外の値で設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MIB 値の範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 34. SNMP」を参照してください。				
28	E3	SOFTWARE	02002015	1001	Data length of the MIB value was too long.
	MIB Set 時に設定した MIB 値のデータ長が長過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MIB 値として設定できる文字数は、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 34. SNMP」を参照してください。				
29	E3	SOFTWARE	02002016	1001	MIB Set failed due to the lack of necessary MIBs.
	設定する上で必要な MIB が足りないために、MIB Set を行うことができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し、設定時に必要な項目が満たされていることを確認してください。				
30	E3	SOFTWARE	02002017	1001	Illegal character used in MIB setting.
	設定できない文字を使用して、MIB Set を行おうとしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 1. このマニュアルの読み方」の文字コード一覧を確認して設定してください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
31	E3	SOFTWARE	02002018	1001	MIB Set failed to configured the configuration file because the preliminary configuration file is under editing.
バックアップコンフィグレーションファイルが編集中のため、スタートアップコンフィグレーションファイルに、MIB の Set を行うことができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] バックアップコンフィグレーションファイルの編集を中止してください。					
32	E3	SOFTWARE	02002019	1001	Failed in contact the configuration file while setting up MIB.
MIB 設定のための、スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスエラーになる要因を取り除いてから再度実行してください。					
33	E3	SOFTWARE	02002020	1001	MIB value has failed to establish. Errors occurred in the "config" command.
MIB Set 時にコンフィグレーション編集時のエラーが発生したため、MIB を設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションのエラーについては、「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」を参照して対応してください。					
34	E3	SOFTWARE	02002021	1001	Not all MIB configured.
MIB Set に失敗したため、MIB 値は途中までしか設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再度設定してください。また、それでもできない場合には、telnet などでもログインし、MIB 値を設定してください。					
35	E3	SOFTWARE	02002023	1001	System failed to save the configuration while processing MIB settings.
snmp マネージャからの MIB set 時に、コンフィグレーションの save 処理でエラーが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションが save されていないので、telnet などでも save してください。					
36	E3	SOFTWARE	02002024	1001	<object name> set as <mib value> at the request of <ip address>.
<object name> は、<ip address> からの要求によって、<mib value> に設定されました。 [メッセージテキストの表示説明] <object name> MIB オブジェクトのニーモニック <mib value> MIB 値 <ip address> SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
37	E3	SOFTWARE	02002025	1001	SNMP: MAC address table entry cleared at the request of <ip address>.
SNMP マネージャ <ip address> からの MAC アドレステーブルクリア要求により MAC アドレステーブルをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。					
38	E3	SOFTWARE	05001010	1001	The number of maximum multipath set by the configuration is different from the maximum value when this system starts.
コンフィグレーションで設定された最大マルチパス数が、本装置起動時の最大値と異なっています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show system コマンドで、「Current selected unicast multipath number」に表示されているマルチパス数の最大数 (2/4/8/16) を確認してください。 2. 1 の値を変更してマルチパスを構成したい場合は、マルチパスを使用するすべてのプロトコルについて、最大マルチパス数をコンフィグレーションで設定および保存してから装置を再起動してください。装置再起動後、コンフィグレーションで設定された最大マルチパス数で運用されます。 3. 1 の値を変更しない場合は、コンフィグレーションで変更した最大マルチパス数の設定を元の値に戻してください。					
39	E3	SOFTWARE	0d10b002	1001	The not used IP address which a dhcp_server can lease out is not a subnet <subnet address>.
dhcp_server が貸し出す未使用の IP アドレスが subnet <subnet address> にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <subnet address> 割り当て範囲サブネットアドレス [対応] dhcp_server が割り当てることができる subnet のクライアントの最大数を調査してください。					
40	E3	SOFTWARE	0d10b003	1001	The dhcp_server reused the abandoned IP address <ip address>.
dhcp_server は、廃棄された IP アドレスを再利用しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> 割り当て IP アドレス [対応] なし。					
41	E3	SOFTWARE	0d10b004	1001	The IP address <ip address> which the dhcp_server schedule to lease out is already used by others.
dhcp_server が貸し出そうとした IP アドレス <ip address> は、すでに他で使用されています。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address> 割り当て予定 IP アドレス [対応] 貸出し IP アドレスの範囲と固定割り当て IP アドレスが重複していないか調査してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
42	E3	SOFTWARE	0d10b005	1001	Failed in NS UPDATE by dhcp_server. : <map>
dhcp_server による NS UPDATE 処理が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <map> エラーが発生したマップ [対応] 本装置のゾーン設定、および認証キー設定と DNS サーバ側の設定を確認してください。 また、認証キーを使用する場合は本装置と DNS サーバの時刻情報が合っていることを確認してください。					
43	E3	SOFTWARE	0d10b0e4	1001	dhcp_server: Invalid network address.
DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。無効なネットワークアドレスの指定です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから、正しいネットワークアドレスを設定し直してください。					
44	E3	SOFTWARE	0d10b0ec	1001	dhcp_server: Invalid key.(ip dhcp key ... secret-hmac-md5 ...)
DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。無効なキーです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから、正しいキーを設定し直してください。					
45	E3	SOFTWARE	0d10b0ee	1001	dhcp_server: Invalid IP address. (ip dhcp excluded-address ...)
DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。除外アドレス範囲の指定が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから、正しい除外アドレス範囲を設定し直してください。					
46	E3	SOFTWARE	0e008001	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> state has transitioned to <state>.
仮想ルータの active 状態が <state> へ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 <state> 仮想ルータの状態 [対応] なし。					
47	E3	SOFTWARE	0e008002	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet with IP TTL not equal to 255.
IP ヘッダの TTL (Time-to-Live) が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
48	E3	SOFTWARE	0e008003	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet that length less than the length of the VRRP header.
パケット長が不正の VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。					
49	E3	SOFTWARE	0e008004	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet that does not pass the authentication check.
受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットの認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置のパスワードの設定と、本装置のパスワードの設定を確認してください。					
50	E3	SOFTWARE	0e008005	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet for which the address list does not match the locally configured list for the virtual router.
受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された仮想ルータの IP アドレスと本装置の設定が一致しません。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の仮想ルータの IP アドレスと、本装置の仮想ルータの IP アドレスの設定を確認してください。					
51	E3	SOFTWARE	0e008006	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet for which the advertisement interval is different than the one configured for local virtual router.
受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された送信間隔と本装置の設定が一致しません。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の送信間隔と、本装置の送信間隔の設定を確認してください。					
52	E3	SOFTWARE	0e008007	1000	VRRP packet received with unsupported version number.
受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された VRRP のバージョンが本装置の VRRP バージョンと一致しません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置と仮想ルータを構成する場合は、相手装置の VRRP のバージョンを IPv4 の場合は 2, IPv6 の場合は 3 に設定してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
53	E3	SOFTWARE	0e008008	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> priority was changed to <priority>.
VRRP の優先度を <priority> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 <priority> 仮想ルータの優先度 [対応] なし。					
54	E3	SOFTWARE	0e008012	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> was finished.
仮想ルータを終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] なし。					
55	E3	SOFTWARE	0e008015	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet with IP HopLimit not equal to 255.
IP ヘッダの HopLimit が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。					
56	E3	SOFTWARE	0e008016	1000	Virtual router <vrid> of <interface name> priority changed to <priority>, because error detected on line by vrrp-polling.
VRRP ポーリングによって、回線障害を検出したため、VRRP の優先度を <priority> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid> 仮想ルータ ID <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 <priority> 仮想ルータの優先度 [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は、コンフィグレーションを調整することで解決できる場合があります。					
57	E3	SOFTWARE	0e008017	1000	<interface name> assigned virtual router <vrid> is down because of error detected by track.
トラッキング機能によって、障害を検出したため、VRRP を設定しているインタフェースをダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 <vrid> 仮想ルータ ID [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は、コンフィグレーションを調整することで解決できる場合があります。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
58	E3	SOFTWARE	0e008018	1000	<interface name> assigned virtual router <vrid> is up because of recovery detected by track.
トラッキング機能によって、障害回復を検出したため、VRRP を設定しているインタフェースをアップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 <vrid> 仮想ルータ ID [対応] なし。					
59	E3	SOFTWARE	0e008019	1000	Critical interface of <interface name> is down.
障害監視インタフェースがダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> 障害監視対象のインタフェース名 [対応] なし。					
60	E3	SOFTWARE	0e008020	1000	Critical interface of <interface name> is up.
障害監視インタフェースがアップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> 障害監視対象のインタフェース名 [対応] なし。					
61	E3	SOFTWARE	0e008025	1000	Critical interface of <interface type> <interface number> is down.
障害監視インタフェースがダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface type> 障害監視インタフェースに指定したインタフェース • gigabitethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, 100BASE-FX, 1000BASE-X • tengigabitethernet 10GBASE-R • port-channel channel-group <interface number> 障害監視インタフェースに指定したインタフェース番号 • <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 (gigabitethernet または tengigabitethernet の場合) • <channel group number> チャネルグループ番号 (port-channel の場合) [対応] なし。					
62	E3	SOFTWARE	0e008026	1000	Critical interface of <interface type> <interface number> is up.
障害監視インタフェースがアップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface type> 障害監視インタフェースに指定したインタフェース • gigabitethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, 100BASE-FX, 1000BASE-X • tengigabitethernet 10GBASE-R • port-channel channel-group <interface number> 障害監視インタフェースに指定したインタフェース番号 • <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 (gigabitethernet または tengigabitethernet の場合) • <channel group number> チャネルグループ番号 (port-channel の場合) [対応] なし。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
63	E3	SOFTWARE	0e008027	1000	Critical interface of <interface number> is up. But priority not changed because of different interface type.
障害監視インタフェースが異速度でアップしました。優先度は変更しません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface number> 障害監視インタフェースに指定したインタフェース番号 • <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。					
64	E3	SOFTWARE	0f306003 0f406003	1001	The multicast routing program will restart, because the multicast (PIM) max-interfaces configuration changed.
ランニングコンフィグレーションの IP マルチキャスト (PIM) 情報がコンフィグレーションコマンド ip pim max-interface で変更されたため、IP マルチキャストルーティングプログラムを再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
65	E3	SOFTWARE	0f406004	1001	IPv4 multicast routing entry had exceeded maximum value <number> for limit, entry has discarded.
IPv4 マルチキャスト経路情報が制限により最大値 <number> を超えたためエントリを廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number> IPv4 マルチキャスト経路情報の最大数 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上のマルチキャスト経路情報追加要求が発生していないか確認をしてください。マルチキャスト経路情報が制限により最大値を超えています。 • コンフィグレーション (ip pim mroute-limit コマンド) を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。					
66	E3	SOFTWARE	0f406005	1001	IPv4 multicast routing entry has recovered from the state of discard.
IPv4 マルチキャスト経路情報を廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
67	E3	SOFTWARE	0f406006	1001	IGMP source-limit <number> has been exceeded on interface <interface name> due to over-request. Request have been discarded.
インタフェース <interface name> で、IGMP ソース制限値 <number> を超える要求がありました。要求を廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number> IGMP グループ制限値 <interface name> インタフェース名称 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上の IGMP グループに属するソース追加要求が発生していないか確認をしてください。 • コンフィグレーション (ip igmp source-limit コマンド) を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
68	E3	SOFTWARE	0f406007	1001	IGMP source-limit on requests on interface <interface name> has recovered from state of discard.
インタフェース <interface name> で、IGMP グループに属するソースを廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> インタフェース名称 [対応] なし。					
69	E3	SOFTWARE	0f406008	1001	IGMP group-limit <number> has been exceeded on interface <interface name> due to over request. Request have been discarded.
インタフェース <interface name> で、IGMP グループ制限値 <number> を超える要求がありました。要求を廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number> IGMP グループ制限値 <interface name> インタフェース名称 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上の IGMP グループ追加要求が発生していないか確認をしてください。 • コンフィグレーション (ip igmp group-limit コマンド) を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。					
70	E3	SOFTWARE	0f406009	1001	IGMP group-limit on requests on interface <interface name> has recovered from state of discard.
インタフェース <interface name> で、IGMP グループを廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name> インタフェース名称 [対応] なし。					
71	E3	SOFTWARE	11010001	1001	The list number <policy list no.> of the policy base routing changed to the sequence number <sequence>.
ポリシーベースルーティングのリスト番号 <policy list no.> 内で、優先度 <sequence> の経路を選択しました。 [メッセージテキストの表示説明] <policy list no.> ポリシーベースルーティングのリスト番号 <sequence> リスト内の経路情報の優先度 [対応] なし。					
72	E3	SOFTWARE	11010002	1001	The list number <policy list no.> of the policy base routing changed to the default operation.
ポリシーベースルーティングのリスト番号 <policy list no.> 内で、デフォルト動作を選択しました。 [メッセージテキストの表示説明] <policy list no.> ポリシーベースルーティングのリスト番号 [対応] なし。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
73	E3	SOFTWARE	1920a003	1001	The multicast routing program will restart, because the multicast (PIM6) max-interfaces configuration changed.
ランニングコンフィグレーションの IPv6 マルチキャスト (PIM6) 情報がコンフィグレーションコマンド ipv6 pim max-interface で変更されたため、IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
74	E3	SOFTWARE	1920a005	1001	IPv6 multicast routing entry had exceeded maximum value <number> for limit, entry has discarded.
IPv6 マルチキャスト経路情報が制限により最大値 <number> を超えたためエントリを廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number> IPv6 マルチキャスト経路情報の最大数 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 - 想定以上のマルチキャスト経路情報追加要求が発生していないか確認をしてください。マルチキャスト経路情報が制限により最大値を超えています。 - コンフィグレーション (ipv6 pim mroute-limit コマンド) を確認してください。 - ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。					
75	E3	SOFTWARE	1920a006	1001	IPv6 multicast routing entry has recovered from the state of discard.
IPv6 マルチキャスト経路情報を廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
76	E3	SOFTWARE	1f01b024	1001	IPv6 DHCP packet discarded by relay agent, because prefix entry exceeded the maximum.
プレフィックスのエントリが最大数を超えたため、リレーエージェントで IPv6 DHCP パケットを破棄しました。また、本メッセージ出力後、5 分間は同じメッセージが連続で出力されないよう抑止されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] - 収容クライアント数を show ipv6 dhcp relay binding コマンドで確認してください。 - 本装置の収容クライアント数が収容条件を超えている場合、収容クライアント数を再検討して変更してください。 なお、実際に破棄された IPv6 DHCP パケット数を確認したい場合は、show ipv6 dhcp traffic コマンドを実行して IPv6 DHCP リレーの統計情報を表示し、lease prefix over の項目を確認してください。					
77	E3	SOFTWARE	1f01b025	1001	IPv6 DHCP relay information defined by the configuration file is ignored, since IPv6 DHCP relay function license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された IPv6 DHCP リレー情報は、ライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 DHCP リレーを使用する場合は、set license コマンドでオプションライセンス OP-DH6R を設定し、装置を再起動してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
78	E3	SOFTWARE	25090003	1001	System changes to the schedule power control because it became schedule time.
	スケジュール時間が開始し、スケジュール省電力が有効になりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
79	E3	SOFTWARE	25090004	1001	System changes from the schedule power control because it ended schedule time.
	スケジュール時間帯が終了し、スケジュール省電力が無効になりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
80	E3	SOFTWARE	25090005	1001	The schedule power control is enable because it is schedule time.
	スケジュール時間帯のため、スケジュール省電力が有効です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
81	E3	SOFTWARE	25090006	1001	The schedule power control is disable because it is not schedule time.
	通常時間帯のため、スケジュール省電力は無効です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
82	E3	SOFTWARE	3000b042	1001	Discard of packets occurred by a reception rate limit of DHCP packets and ARP packets.
	DHCP パケットと ARP パケットの受信レート制限によるパケット廃棄が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
83	E3	SOFTWARE	3000b043	1001	Failed in binding database generate by binding entry exceeded(<mac address>/<vlan id>/<ip address>).
	データベースエントリ不足によってバインディングデータベース生成に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mac address>/<vlan id>/<ip address> DHCP クライアント端末情報 • <mac address> MAC アドレス • <vlan id> VLAN ID • <ip address> IP アドレス [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直してください。また、スタティックエントリの追加によって本メッセージが表示された場合は該当するスタティックエントリを削除してください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
84	E3	SOFTWARE	3000b044	1001	The binding database can't be restored(<reason>).
バインディングデータベースを復元できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <reason> 失敗理由 • File is not found. (ファイルが見つかりません) • May be broken. (バインディングデータベースが壊れているおそれがあります) • The data is not saved. (復元できるデータがありません) [対応] バインディングデータベースの保存先を確認してください。					
85	E3	SOFTWARE	3000b045	1001	The binding database can't be stored(<reason>).
バインディングデータベースを保存できません。 [メッセージテキストの表示説明] <reason> 失敗理由 • File is not writing. (ファイルに書き込みができません) [対応] バインディングデータベースの保存先を確認してください。					
86	E3	SOFTWARE	3000b046	1001	The binding database was restored from <url>.
バインディングデータベースを復元しました。 [メッセージテキストの表示説明] <url> 読み込んだバインディングデータベース • previous process リスタート前のプロセス • flash 内蔵フラッシュメモリ • mc MC [対応] なし。					
87	E3	SOFTWARE	3000b047	1001	Failed in source guard setting by DHCP snooping (<mac address>/<vlan id>/<ip address>/<nif no.>/<port no.>).
端末フィルタの設定に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mac address>/<vlan id>/<ip address>/<nif no.>/<port no.> 端末フィルタ設定情報 • <mac address> MAC アドレス • <vlan id> VLAN ID • <ip address> IP アドレス • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直してください。					
88	E4	SOFTWARE	0e008021	1000	The VRRP virtual MAC address entry can't be registered at hardware tables.
VRRP の仮想 MAC アドレスをハードウェアに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 仮想ルータの仮想ルータ ID を異なる値に変更してください。 2. 仮想ルータを設定する VLAN の VLAN ID を異なる値に変更してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
89	E4	SOFTWARE	20160002	1001	The MAC-VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables.
MAC VLAN のコンフィグレーションコマンドで設定した MAC アドレスがハードウェアに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
90	E4	SOFTWARE	20400003	1001	The 802.1X Supplicant MAC address can't be registered at hardware tables.
IEEE802.1X で認証に成功した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
91	E4	SOFTWARE	20400004	1001	The 802.1X Supplicant MAC address of MAC VLAN can't be registered at hardware tables.
IEEE802.1X で MAC VLAN での認証に成功した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
92	E4	SOFTWARE	20420002	1001	The wad MAC Address entry can't be registered at hardware tables.
Web 認証機能で、端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
93	E4	SOFTWARE	20420003	1001	The wad MAC Address entry failed in the deletion.
Web 認証機能で、登録した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルから削除されませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MAC 管理プログラム (L2MacManager) を再起動してください。					
94	E4	SOFTWARE	20430002	1001	The macauthd MAC address entry can't be registered at hardware tables.
MAC 認証で、端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
95	E4	SOFTWARE	20430003	1001	The macauthd MAC address entry failed in the deletion.
MAC 認証で、登録した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルから削除されませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MacManager を再起動してください。					
96	E4	SOFTWARE	27000013	0000	System accounting failed (<number> times).
ログイン・ログアウト・コマンドのアカウントिंगが失敗しました。 このメッセージは、アカウントिंगが失敗した場合に、間隔をあけて出力されます。なお、1 回でも成功した場合や、1 時間失敗が起きなかった場合には、失敗回数はクリアされます。 [メッセージテキストの表示説明] <number> 連続して失敗した回数 [対応] 1. RADIUS サーバまたは TACACS+ のコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバの IP アドレスに誤りがないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのポート番号に誤りがないかコンフィグレーションを確認してください。					
97	E7	SOFTWARE	00003101	1000	Memory exhausted. Possibly too many users logged in, or too many sessions(via ftp,http,...) established.
CPU のメモリが不足しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 多数のユーザがログインしている場合、必要最小限のユーザ以外はログアウトしてください。 2. ftp からの利用が多い場合、必要最小限のコネクション以外は切断してください。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 上記 1, 2, 3 で回復しない場合、本装置の収容条件を満たしていない可能性があります。「コンフィグレーションガイド Vol.1 3.2 収容条件」を参照してネットワーク構成を見直してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
98	E7	SOFTWARE	01100001 01200001 01300001 01400001 01600001 01700001 01800001 01900001 01910001 03000001 04000001 05000001 06100001 06200001 06300001 06400001 06500001 07000001 08000001 09100001 09200001 09300001 09400001 09500001 09600001 09700001 09800001	1001	Software failure occurred during operation.
運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は、装置を交換してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
99	E7	SOFTWARE	01100002 01200002 01300002 01400002 01600002 01700002 01800002 01900002 01910002 03000002 04000002 05000002 06100002 06200002 06300002 06400002 06500002 07000002 08000002 09100002 09200002 09300002 09400002 09500002 09600002	1001	Software failure occurred during operation.
運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は、装置を交換してください。					
100	E7	SOFTWARE	01100004 01200004 01300004 01400004 01600004 01700004 01800004 01900004 01910004 03000004 04000004 05000004 06100004 06200004 06300004 06400004 06500004 07000004 08000004 09100004 09200004 09300004 09400004 09500004 09600004	1001	Software failure occurred during operation.

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
					運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は、装置を交換してください。
101	E7	SOFTWARE	02002001	1001	snmpd aborted.
					SNMP エージェントプログラム (snmpd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル snmpd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
102	E7	SOFTWARE	02002003	1001	rmon aborted.
					RMON プログラム (rmon) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RMON の障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル rmon.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、RMON プログラムは自動的に再起動されます。RMON プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
103	E7	SOFTWARE	05001001	1001	Rtm aborted [:<error string>].
					ユニキャストルーティングプログラム (rtm) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] <error string> エラー要因 • Cannot allocate memory メモリ不足による強制終了 • 空白 その他の要因による強制終了 [対応] • エラー要因が、「メモリ不足による強制終了」の場合 メモリ領域が枯渇したことが原因です。使用制限（「コンフィグレーションガイド Vol.1 3.2 収容条件」参照）をオーバーしていないか確認してください。使用制限内である場合は、次の「エラー要因：その他の要因による強制終了」の対応を行ってください。 • エラー要因が、「その他の要因による強制終了」の場合 (1) ユニキャストルーティングプロトコルに関する他のログ（ログ種別：RTM）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 (2) ユニキャストルーティングプログラムは自動的に再起動されます。ユニキャストルーティングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
104	E7	SOFTWARE	0d00b001	1001	dhcpd aborted.
					DHCP リレープログラム (dhcpd) を強制終了しました。DHCP リレーが、メモリ領域不足などの異常を検出したため、動作継続を断念し、強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP リレープログラムは自動的に再起動します。DHCP リレープログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
105	E7	SOFTWARE	0d10b001	1001	dhcp_server aborted.
DHCP サーバプログラム (dhcp_server) を強制終了しました。DHCP サーバが、メモリ領域不足などの異常を検出したため、動作継続を断念し、強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP サーバプログラムは自動的に再起動します。DHCP サーバプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。					
106	E7	SOFTWARE	0e008014	1000	vrrpd aborted.
VRRP プログラム (vrrpd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VRRP プログラムは自動的に再起動します。VRRP プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
107	E7	SOFTWARE	0f406001	1001	mrp aborted.
IP マルチキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ (ログ種別: MRP) が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. IP マルチキャストルーティングプログラムは自動的に再起動します。IP マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。					
108	E7	SOFTWARE	11109901	1001	policyd aborted.
ポリシーベースプログラム (policyd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ポリシーベースプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル policyd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、ポリシーベースプログラムは自動的に再起動されます。ポリシーベースプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
109	E7	SOFTWARE	1920a002	1001	mr6 aborted.
IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IPv6 マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ (ログ種別: MR6) が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムは自動的に再起動します。IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。					
110	E7	SOFTWARE	1e001000	1001	flowd aborted.
フロー統計エージェントプログラム (flowd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] フロー統計エージェントプログラムは自動的に再起動します。フロー統計エージェントプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
111	E7	SOFTWARE	1f00b011	1001	dhcp6_server aborted.
	IPv6 DHCP サーバプログラム (dhcp6_server) を強制終了しました。 IPv6 DHCP サーバが、メモリ領域不足などの異常を検出したため、動作継続を断念し、強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 DHCP サーバプログラムは自動的に再起動します。IPv6 DHCP サーバプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
112	E7	SOFTWARE	1f01b021	1001	dhcp6_relay aborted.
	IPv6 DHCP リレープログラム (dhcp6_relay) を強制終了しました。 IPv6 DHCP リレーが、メモリ領域不足などの異常を検出したため、動作継続を断念し、強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 DHCP リレープログラムは自動的に再起動します。IPv6 DHCP リレープログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
113	E7	SOFTWARE	20110000	1001	stpd aborted
	スパンニングツリープログラム (STPd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] スパンニングツリープログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル stpd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、スパンニングツリープログラムは自動的に再起動されます。スパンニングツリープログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
114	E7	SOFTWARE	20120001	1001	LAd aborted
	リンクアグリゲーションプログラム (LAd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] リンクアグリゲーションプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル LAd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、リンクアグリゲーションプログラムは自動的に再起動されます。リンクアグリゲーションプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
115	E7	SOFTWARE	20130001	1001	gsrpd aborted.
	GSRP プログラム (gsrpd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] GSRP プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル gsrpd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、GSRP プログラムは自動的に再起動されます。GSRP プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
116	E7	SOFTWARE	20140001	1001	lldpd aborted.
LLDP プログラム (lldpd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] LLDP プログラムは自動的に再起動します。LLDP プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
117	E7	SOFTWARE	20150001	1001	oadpd aborted.
OADP プログラム (oadpd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] OADP プログラムは自動的に再起動します。OADP プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
118	E7	SOFTWARE	20160001	1001	L2MacManager aborted.
L2MAC 管理プログラム (L2MacManager) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MAC 管理プログラムは自動的に再起動します。L2MAC 管理プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
119	E7	SOFTWARE	20170001	1001	axrpd aborted.
Ring Protocol プログラム (axrpd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Ring Protocol プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル axrpd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、Ring Protocol プログラムは自動的に再起動されます。Ring Protocol プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
120	E7	SOFTWARE	20400001	1001	dot1xd aborted
IEEE802.1X プログラム (dot1xd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IEEE802.1X プログラムは自動的に再起動します。IEEE802.1X プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
121	E7	SOFTWARE	20420001	1001	wad aborted.
Web 認証プログラム (wad) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Web 認証プログラムは自動的に再起動します。Web 認証プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
122	E7	SOFTWARE	20430001	1001	macauthd aborted.
	MAC 認証プログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC 認証プログラムは自動的に再起動します。MAC 認証プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
123	E7	SOFTWARE	20700001	1001	efmoamd aborted.
	IEEE802.3ah/OAM プログラム (efmoamd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IEEE802.3ah/OAM プログラムは自動的に再起動します。IEEE802.3ah/OAM プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
124	E7	SOFTWARE	20800001	1001	l2ldd aborted.
	L2 ループ検知プログラム (l2ldd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2 ループ検知プログラムは自動的に再起動します。L2 ループ検知プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
125	E7	SOFTWARE	20900001	1001	cfmd aborted.
	CFM プログラム (cfmd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CFM プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル cfmd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。 収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、CFM プログラムは自動的に再起動します。CFM プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
126	E7	SOFTWARE	21000001	1001	snoopd aborted.
	IGMP snooping/MLD snooping プログラム (snoopd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IGMP snooping/MLD snooping プログラムは自動的に再起動します。IGMP snooping/MLD snooping プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
127	E7	SOFTWARE	25300000	1001	nimd aborted.
	ネットワークインタフェース管理プログラム (nimd) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ネットワークインタフェース管理プログラムは自動的に再起動します。ネットワークインタフェース管理プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
128	E7	SOFTWARE	27000001	0000	accountingd aborted.
アカウントングプログラム（accountingd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] アカウントングプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル acctd.core）およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。なお、アカウントングプログラムは自動的に再起動されます。アカウントングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
129	E7	SOFTWARE	27000011	0000	System accounting temporary stopped because accounting event congestion detected.
アカウントングイベント送信が輻輳したため、ログイン・ログアウト・コマンドのアカウントングを一時停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show accounting コマンドでエラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバがないかを確認してください。エラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのコンフィグレーションの設定を確認してください。また、RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバ側の設定も正しいことを確認してください。 輻輳状態は次のどれかの契機で回復します。 1. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバとの通信が復旧後、送信待ちアカウントングイベント数が 256 まで減少したとき。 送信待ちアカウントングイベント数は、show accounting コマンドの表示項目「InQueue」で確認できます。 2. restart accounting コマンド実行時。 3. 次に示すアカウントング関連のコンフィグレーション変更時。 aaa accounting exec, aaa accounting commands, radius-server 関連コマンド, tacacs-server 関連コマンド, interface loopback モードの ip address					
130	E7	SOFTWARE	2a001000	1001	httpd aborted.
HTTP プログラム（httpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] HTTP プログラムは自動的に再起動します。HTTP プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
131	E7	SOFTWARE	3000b041	1001	dhcp_snoopingd aborted.
DHCP snooping プログラム（dhcp_snoopingd）を強制終了しました。 DHCP snooping が、メモリ領域不足などの異常を検出したため、動作継続を断念し、強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP snooping プログラムは自動的に再起動します。DHCP snooping プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
132	E7	SOFTWARE	32001001	1001	trackobjd aborted.
トラックオブジェクトプログラム（trackobjd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トラックオブジェクトプログラムは自動的に再起動します。トラックオブジェクトプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
133	E9	SOFTWARE	01100003 01200003 01300003 01400003 01600003 01700003 01800003 01900003 01910003 03000003 04000003 05000003 06100003 06200003 06300003 06400003 06500003 07000003 08000003 09100003 09200003 09300003 09400003 09500003 09600003	1001	System restarted due to software failure occurred during initialization.
初期化中にソフトウェアに障害が発生し、装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。					
134	E9	SOFTWARE	01100005 01200005 01300005 01400005 01600005 01700005 01800005 01900005 01910005 03000005 04000005 05000005 06100005 06200005 06300005 06400005 06500005 07000005 08000005 09100005 09200005 09300005 09400005 09500005 09600005 09700005 09800005	1001	System restarted due to software failure occurred during operation.

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
					運用中にソフトウェアに障害が発生し、装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
135	R7	SOFTWARE	00003101	1000	Recovered from memory exhaustion.
					CPU のメモリ不足が回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
136	R7	SOFTWARE	02002001	1001	snmpd restarted.
					SNMP エージェントプログラム (snmpd) を再起動しました。 このメッセージは、SNMP エージェントプログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル snmpd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
137	R7	SOFTWARE	02002003	1001	rmon restarted.
					RMON プログラム (rmon) を再起動しました。 このメッセージは、RMON プログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RMON の障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル rmon.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、RMON プログラムは自動的に再起動されます。RMON プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
138	R7	SOFTWARE	05001001	1001	Rtm restarted.
					ユニキャストルーティングプログラム (rtm) を再起動しました。 このメッセージは、ユニキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart unicast コマンドによって再起動を実行した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
139	R7	SOFTWARE	0d00b001	1001	dhcpd restarted.
					DHCP リレープログラム (dhcpd) を再起動しました。 このメッセージは DHCP リレープログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
140	R7	SOFTWARE	0d10b001	1001	dhcp_server restarted.
	DHCP サーバプログラム (dhcp_server) を再起動しました。 このメッセージは DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
141	R7	SOFTWARE	0e008014	1000	vrrpd restarted.
	VRRP プログラム (vrrpd) を再起動しました。 このメッセージは VRRP プログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
142	R7	SOFTWARE	0f406001	1001	mrp restarted.
	IP マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。 このメッセージは、IP マルチキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart ipv4-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
143	R7	SOFTWARE	11109901	1001	policyd restarted.
	ポリシーベースプログラム (policyd) を再起動しました。 このメッセージは、ポリシーベースプログラムが自動的に再起動した場合、または restart policy コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
144	R7	SOFTWARE	1920a002	1001	mr6 restarted.
	IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。 このメッセージは、IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart ipv6-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
145	R7	SOFTWARE	1e001000	1001	flowd restarted.
	フロー統計エージェントプログラム (flowd) を再起動しました。このメッセージはフロー統計エージェントプログラムが自動的に再起動した場合、または restart sflow コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
146	R7	SOFTWARE	1f00b011	1001	dhcp6_server restarted.
IPv6 DHCP サーバプログラム (dhcp6_server) を再起動しました。 このメッセージは、IPv6 DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
147	R7	SOFTWARE	1f01b021	1001	dhcp6_relay restarted.
IPv6 DHCP リレープログラム (dhcp6_relay) を再起動しました。 このメッセージは、IPv6 DHCP リレープログラムが自動的に再起動した場合、または restart ipv6-dhcp relay コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
148	R7	SOFTWARE	20110001	1001	stpd restarted
スパニングツリープログラム (stpd) を再起動しました。このメッセージは、スパニングツリープログラムが自動的に再起動した場合、または restart spanning-tree コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
149	R7	SOFTWARE	20120001	1001	LAd restarted.
リンクアグリゲーションプログラム (LAd) を再起動しました。 このメッセージは、リンクアグリゲーションプログラムが自動的に再起動した場合、または restart link-aggregation コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
150	R7	SOFTWARE	20130002	1001	gsrpd restarted.
GSRP プログラム (gsrpd) を再起動しました。 このメッセージは GSRP プログラムが自動的に再起動した場合、または restart gsrp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
151	R7	SOFTWARE	20140001	1001	lldpd restarted.
LLDP プログラム (lldpd) を再起動しました。 このメッセージは LLDP プログラムが自動的に再起動した場合、または restart lldp コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
152	R7	SOFTWARE	20150001	1001	oadpd restarted.
	OADP プログラム (oadpd) を再起動しました。 このメッセージは OADP プログラムが自動的に再起動した場合、または restart oadp コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
153	R7	SOFTWARE	20160001	1001	L2MacManager restarted.
	L2MAC 管理プログラム (L2MacManager) を再起動しました。 このメッセージは L2MAC 管理プログラムが自動的に再起動した場合、または restart vlan コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
154	R7	SOFTWARE	20170001	1001	axrpd restarted.
	Ring Protocol プログラム (axrpd) を再起動しました。このメッセージは Ring Protocol プログラムが自動的に再起動した場合、または restart axrpd コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
155	R7	SOFTWARE	20400001	1001	dot1xd restarted.
	IEEE802.1X プログラム (dot1xd) を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.1X プログラムが自動的に再起動した場合、または restart dot1x コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
156	R7	SOFTWARE	20420001	1001	wad restarted.
	Web 認証プログラム (wad) を再起動しました。 このメッセージは Web 認証プログラムが自動的に再起動した場合、または restart web-authentication コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				
157	R7	SOFTWARE	20430001	1001	macauthd restarted.
	MAC 認証プログラムを再起動しました。 このメッセージは MAC 認証プログラムが自動的に再起動した場合、または restart mac-authentication コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
158	R7	SOFTWARE	20700001	1001	efmoamd restarted.
IEEE802.3ah/OAM プログラム (efmoamd) を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.3ah/OAM プログラムが自動的に再起動した場合、または restart efmoamd コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
159	R7	SOFTWARE	20800001	1001	l2ldd restarted.
L2 ループ検知プログラム (l2ldd) を再起動しました。 このメッセージは L2 ループ検知プログラムが自動的に再起動した場合、または restart loop-detection コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
160	R7	SOFTWARE	20900001	1001	cfmd restarted.
CFM プログラム (cfmd) を再起動しました。 このメッセージは CFM プログラムが自動的に再起動した場合、または restart cfm コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
161	R7	SOFTWARE	21000001	1001	snoopd restarted.
IGMP snooping/MLD snooping プログラム (snoopd) を再起動しました。 このメッセージは IGMP snooping/MLD snooping プログラムが自動的に再起動した場合、または restart snooping コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
162	R7	SOFTWARE	25300000	1001	nimd restarted.
ネットワークインタフェース管理プログラム (nimd) を再起動しました。 このメッセージは、ネットワークインタフェース管理プログラムが自動的に再起動した場合、または restart vlan コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
163	R7	SOFTWARE	27000001	0000	accountingd restarted.
アカウントングプログラム (accountingd) を再起動しました。 このメッセージはアカウントングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart accounting コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
164	R7	SOFTWARE	27000011	0000	System accounting recovered from congestion.
	アカウンティングイベント送信が輻輳から回復したため、ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングを再開しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
165	R7	SOFTWARE	2a001000	1001	httpd restarted.
	HTTP プログラム (httpd) を再起動しました。このメッセージは、HTTP プログラムが自動的に再起動した場合、または restart netconf コマンドによって HTTP プログラムと NETCONF プログラムの再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
166	R7	SOFTWARE	3000b041	1001	dhcp_snoopingd restarted.
	DHCP snooping プログラム (dhcp_snoopingd) を再起動しました。 このメッセージは DHCP snooping プログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
167	R7	SOFTWARE	32001001	1001	trackobjd restarted.
	トラックオブジェクトプログラム (trackobjd) を再起動しました。 このメッセージはトラックオブジェクトプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.4.2 イベント発生部位 = SOFTWARE (認証 VLAN) 【OP-VAA】

イベント発生部位 = SOFTWARE (認証 VLAN) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-11 イベント発生部位 = SOFTWARE (認証 VLAN) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	SOFTWARE	20410002	1001	vaad connection closed <ipv4 address>.
	VAA と認証サーバ <ipv4 address> との接続が切断されました。 このメッセージは VAA と認証サーバ間の TCP 接続が何らかの要因で切断された場合、または VAA を停止した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address> 認証サーバの IPv4 アドレス [対応] VAA が起動状態の場合は、自動的に再接続します。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
2	E3	SOFTWARE	20410003	1001	vaad connection was established <ipv4 address>.
VAA と認証サーバ <ipv4 address> とのコネクションが確立しました。 このメッセージは、VAA と認証サーバ間の TCP コネクションが確立された場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address> 認証サーバの IPv4 アドレス [対応] なし。					
3	E3	SOFTWARE	20410004	1001	vaad Server protocol version is not supported.
認証サーバのプロトコルバージョンが、VAA でサポートしているバージョンではありません。 このメッセージは、認証サーバのプロトコルバージョンが "1.0" 以外の場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証サーバのプロトコルバージョンを "1.0" に変更してください。					
4	E3	SOFTWARE	20410005	1001	vaad Since L2MacManager restarted, all MAC was deleted.
L2MacManager が VAA とのソケットをクローズしたため、認証登録してあるすべての MAC アドレスを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。					
5	E3	SOFTWARE	20410006	1001	vaad all MAC address were cleared.
VAA と認証サーバ間のすべての TCP コネクションが、指定されたリトライ回数内で確立できなかったため、認証登録してあるすべての MAC アドレスを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置と認証サーバ間でネットワーク的に導通できるか確認してください。					
6	E3	SOFTWARE	20410007	1001	vaad The socket with L2MacManager was closed.
VAA と L2MacManager 間のソケットをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] このエラーが頻発する場合は、L2MacManager を再起動してください。					
7	E3	SOFTWARE	20410012	1001	VAA information defined by the configuration file is ignored, since VAA function license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された VAA 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] set license コマンドでオプションライセンス OP-VAA を設定し、装置を再起動してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
8	E4	SOFTWARE	20410008	1001	The vaad MAC Address entry can't be registered at hardware tables.
VAA 機能で、端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし、ハードウェアの仕様によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。					
9	E4	SOFTWARE	20410009	1001	vaad failed to get configuration data.
装置内部で VAA 機能のコンフィグレーションデータの取得を失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し、VAA のコンフィグレーションを再設定してください。					
10	E4	SOFTWARE	20410010	1001	vaad failed to make temporary file.
装置内部で VAA 機能のテンポラリファイルの作成を失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し、VAA のコンフィグレーションを再設定してください。					
11	E4	SOFTWARE	20410011	1001	vaad was not able to get enough memory.
装置のメモリ容量が足りないため、VAA のメモリ確保を失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し、VAA のコンフィグレーションを再設定してください。					
12	E7	SOFTWARE	20410001	1001	vaad aborted.
VAA プログラム (vaad) を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA プログラムは自動的に再起動します。VAA プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
13	R7	SOFTWARE	20410001	1001	vaad restarted.
VAA プログラム (vaad) を再起動しました。 このメッセージは VAA プログラムが自動的に再起動した場合、または restart vaa コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。					

3.5 ポート

3.5.1 イベント発生部位 = PORT

イベント発生部位 = PORT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-12 イベント発生部位 = PORT の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	PORT	25011000	1350	Port enabled administratively.
コンフィグレーションコマンド no shutdown, no schedule-power-control shutdown によって、ポートは disable 状態を解除されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
2	E3	PORT	25011006	1350	Port activated administratively.
activate コマンドによって、ポートは inactive 状態を解除されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
3	E3	PORT	25011100	1350	Port disabled administratively.
コンフィグレーションコマンド shutdown, schedule-power-control shutdown によって、ポートは disable 状態にされました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
4	E3	PORT	25011106	1350	Port inactivated administratively.
inactivate コマンドによって、ポートは inactive 状態にされました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
5	E3	PORT	25020601	1350	Supplying power was stopped by the overload detection.
オーバロード検出により、電力の供給を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 受電装置を確認してください。また、PoE 電力供給が可能な装置同士を接続している場合、コンフィグレーションコマンドで該当ポートの PoE 機能を無効にしてください。PoE 機能の設定については、「コンフィグレーションガイド Vol.1 14.13 PoE のコンフィグレーション【AX3630S】」を参照してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
6	E3	PORT	25230000	1350	Unable to use traffic-shape rate feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 traffic-shape rate」の rate パラメータの説明を参照してください。					
7	E3	PORT	25230001	1350	Unable to use traffic-shape rate feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 traffic-shape rate」の rate パラメータの説明を参照してください。					
8	E3	PORT	25230002	1350	Port half duplex does not support traffic-shape rate feature.
半二重回線では、ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. ポート帯域制御を使用する場合、全二重回線に変更してください。 2. 半二重回線で使用する場合、コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。					
9	E3	PORT	25230003	1350	Unable to use WFQ feature because minimum rate exceeding setting range was specified for queue <queue no.>.
キュー番号 <queue no.> に指定した最低保障帯域が設定範囲外のため、WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] <queue no.> キュー番号 [対応] 設定範囲内の最低保障帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 qos-queue-list」の wfq パラメータの説明を参照してください。					
10	E3	PORT	25230004	1350	Unable to use WFQ feature because unit of the minimum rate specified for queue <queue no.> was unjustified.
キュー番号 <queue no.> に指定した最低保障帯域の設定単位が不当であったため、WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] <queue no.> キュー番号 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 qos-queue-list」の wfq パラメータの説明を参照してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
11	E3	PORT	25230005	1350	Unable to use WFQ feature because total value of minimum rate exceeding the maximum rate of the port.
最低保障帯域の合計値が回線の最大送出帯域を超えたため、WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 最低保障帯域の合計値が最大送出帯域以内になるようにコンフィグレーションコマンド qos-queue-list で変更してください。					
12	E3	PORT	25230006	1350	Port half duplex does not support WFQ feature.
半二重回線では、WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 - スケジューリングモードで WFQ を使用する場合、全二重回線に変更してください。 - 半二重回線で使用する場合、コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list で、WFQ を含まないスケジューリングモードに変更してください。					
13	E4	PORT	25011001	1350	Port up.
ポートが up しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
14	E4	PORT	25011002	1350	Transceiver connected.
トランシーバの挿入を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
15	E4	PORT	25011101	1350	Error detected on the port.
ポートで障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の場合 - 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。 - 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 - test interfaces コマンドを実行し、装置、ケーブルに問題がないことを確認してください。 100BASE-FX/1000BASE-X/10GBASE-R の場合 - 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。また、ケーブルの端面が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。 - 光アッテネータ（光減衰器）を使用している場合、減衰値を確認してください。 - 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 - test interfaces コマンドを実行し、装置、ケーブルに問題がないことを確認してください。					
16	E4	PORT	25011102	1350	Transceiver notconnected.
トランシーバの抜去を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トランシーバを正しく挿入してください。					

3.5 ポート

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
17	E4	PORT	25011103	1350	Auto negotiation failed.
					オートネゴシエーションが失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] • オートネゴシエーションの設定を確認してください。 • test interfaces コマンドを実行し、ケーブルに問題がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。
18	E4	PORT	25011104	1350	Many failures occurred in receiving frames to the targeted port due to the port troubles. Execute the Line tests to check the port condition.
					ノイズなどによるエラーのため、該当ポートでのフレーム受信失敗が多発しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] • test interfaces コマンドを実行し、ケーブルに問題がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。
19	E4	PORT	25011105	1350	Many failures occurred in sending frames to the targeted port due to the port troubles. Execute the Line tests to check the port condition.
					ノイズなどによるエラーのため、該当ポートでのフレーム送信失敗が多発しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] • test interfaces コマンドを実行し、装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 • 装置またはケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。
20	E4	PORT	25011500	1350	Transceiver not supported.
					未サポートのトランシーバを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「ハードウェア取扱説明書」の「SFP 一覧」および「XFP 一覧」を参照して、該当ポート番号でサポートしているトランシーバを挿入してください。
21	E4	PORT	25100009	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of broadcast storm detection.
					ブロードキャストストームを検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ストームから回復した後、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。
22	E4	PORT	2510000a	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:broadcast storm detected.
					ブロードキャストストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
23	E4	PORT	2510000b	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:broadcast storm recovered.
ブロードキャストストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。					
24	E4	PORT	2510000c	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of multicast storm detection.
マルチキャストストームを検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ストームから回復した後、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。					
25	E4	PORT	2510000d	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:multicast storm detected.
マルチキャストストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。					
26	E4	PORT	2510000e	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:multicast storm recovered.
マルチキャストストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。					
27	E4	PORT	2510000f	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of unicast storm detection.
ユニキャストストームを検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ストームから回復した後、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。					
28	E4	PORT	25100010	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:unicast storm detected.
ユニキャストストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。					

3.5 ポート

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
29	E4	PORT	25100011	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:unicast storm recovered.
	ユニキャストストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。				
30	E4	PORT	25100012	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of uni-directional link detection.
	片方向リンク障害を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] - 接続先で IEEE802.3ah/OAM 機能が有効であることを確認してください。 - test interfaces コマンドを実行し、装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 - 装置またはケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。 その後、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				
31	E4	PORT	25100013	1350	NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of loop detection.
	ループを検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
32	E8	PORT	25020201	1350	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したので、ポート部分の再起動を行いました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ、または障害回復失敗のログを確認してください。障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は、装置を交換してください。トランシーバを実装している場合は、トランシーバがしっかり実装されているか確認してください。				
33	E8	PORT	25020202	1350	Port stopped because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したので、ポート部分を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は、装置を交換してください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
34	E8	PORT	25020401	1350	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
ポート部分の再起動を行いました。ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トランシーバ使用時 1. 該当ポートで inactivate コマンドを実行後、トランシーバをいったん抜いてから再度挿入し、 activate コマンドを実行してください。 2. 1 で回復しない場合、 inactivate コマンドを実行後、トランシーバを交換し、 activate コマンドを実行してください。 3. 1, 2 で回復しない場合、未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は、装置を交換してください。 トランシーバ未使用時 未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は、装置を交換してください。					
35	R8	PORT	25020201	1350	Port recovered from hardware failure.
ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					

3.5.2 イベント発生部位 = ULR

イベント発生部位 =ULR の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-13 イベント発生部位 =ULR の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E4	ULR	20a00001	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(<nif no.>/<port no.>).
プライマリポートに障害が発生したため、セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。					
2	E4	ULR	20a00002	2400	ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>).
セカンダリポートに障害が発生したため、プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
3	E4	ULR	20a00003	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(ChGr:<channel group number>).
プライマリポートに障害が発生したため、セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。					
4	E4	ULR	20a00004	2400	ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(ChGr:<channel group number>).
セカンダリポートに障害が発生したため、プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。					
5	E4	ULR	20a00005	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(<nif no.>/<port no.>).
プライマリポートに障害が発生したため、セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。					
6	E4	ULR	20a00006	2400	ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>).
セカンダリポートに障害が発生したため、プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。					
7	E4	ULR	20a00007	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(ChGr:<channel group number>).
プライマリポートに障害が発生したため、セカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。					
8	E4	ULR	20a00008	2400	ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(ChGr:<channel group number>).
セカンダリポートに障害が発生したため、プライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
9	E4	ULR	20a00009	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.
set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。					
10	E4	ULR	20a00010	2400	ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.
set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。					
11	E4	ULR	20a00011	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(<nif no.>/<port no.>) from primary port(ChGr:<channel group number>), because command execution.
set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。					
12	E4	ULR	20a00012	2400	ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(ChGr:<channel group number>), because command execution.
set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。					
13	E4	ULR	20a00013	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.
set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
14	E4	ULR	20a00014	2400	ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because command execution.
					set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。
15	E4	ULR	20a00015	2400	ULR:Active port is switched to secondary port(ChGr:<channel group number>) from primary port(ChGr:<channel group number>), because command execution.
					set switchport-backup active コマンドの実行によってプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
16	E4	ULR	20a00016	2400	ULR:Active port is switched to primary ChGr(<channel group number>) from secondary ChGr(<channel group number>), because command execution.
					set switchport-backup active コマンドの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
17	E4	ULR	20a00017	2400	ULR:Primary port(<nif no.>/<port no.>) became the active port.
					プライマリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。
18	E4	ULR	20a00018	2400	ULR:Primary port(ChGr:<channel group number>), became the active port.
					プライマリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
19	E4	ULR	20a00019	2400	ULR:Secondary port(<nif no.>/<port no.>) became the active port.
					セカンダリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
20	E4	ULR	20a00020	2400	ULR:Secondary port(ChGr:<channel group number>) became the active port.
					セカンダリポートがアクティブポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
21	E4	ULR	20a00021	2400	ULR:Both uplink redundant port(<nif no.>/<port no.>) and port(<nif no.>/port no.>) are down.
					プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。
22	E4	ULR	20a00022	2400	ULR:Both uplink redundant port(<nif no.>/<port no.>) and port(ChGr:<channel group number>) are down.
					プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。
23	E4	ULR	20a00023	2400	ULR:Both uplink redundant port(ChGr:<channel group number>) and port(<nif no.>/<port no.>) are down.
					プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。
24	E4	ULR	20a00024	2400	ULR:Both uplink redundant port(ChGr:<channel group number>) and port(ChGr:<channel group number>) are down.
					プライマリポートとセカンダリポートが両方ダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] プライマリポートとセカンダリポートで障害が発生していないか確認してください。
25	E4	ULR	20a00025	2400	ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because preemption execution.
					自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。

3.5 ポート

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
26	E4	ULR	20a00026	2400	ULR:Active port is switched to primary port(<nif no.>/<port no.>) from secondary port(ChGr:<channel group number>), because preemption execution.
					自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。
27	E4	ULR	20a00027	2400	ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(<nif no.>/<port no.>), because preemption execution.
					自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。
28	E4	ULR	20a00028	2400	ULR:Active port is switched to primary port(ChGr:<channel group number>) from secondary port(ChGr:<channel group number>), because preemption execution.
					自動切り戻しの実行によってセカンダリポートからプライマリポートに切り戻しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。
29	E4	ULR	20a00029	2400	ULR:Exceeded the number of MAC Address Table entry update request to uplink-switch from active port(<nif no.>/<port no.>).
					本装置のアップリンクポートから上位アップリンクスイッチに対して MAC アドレステーブルエントリの更新を要求できる数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.> NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。
30	E4	ULR	20a00030	2400	ULR:Exceeded the number of MAC Address Table entry update request to uplink-switch from active port(ChGr:<channel group number>).
					本装置のアップリンクポートから上位アップリンクスイッチに対して MAC アドレステーブルエントリの更新を要求できる数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] なし。

3.6 オプション機構

3.6.1 イベント発生部位 = PS

イベント発生部位 = PS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-14 イベント発生部位 = PS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	PS	00000003	2200	Failed in accumulated running time access to <ps>.
電源機構への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 <ps> の部分は、PS1, PS2 のうち、通算稼働時間のアクセスに失敗した電源機構が表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps> PS1 または PS2 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間管理機能が使用できないので、使用したい場合は電源機構を交換してください。					
2	E8	PS	00000001	2200	<ps> is power off.
表示された電源は OFF です。 <ps> の部分は、PS, EPU のうち、OFF の電源が表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps> PS または EPU [対応] 1. 電源スイッチを確認し、ON にしてください。 2. 電源ケーブルの接続と電源供給元を確認し、正しく接続してください。 3. 予備電源機構の実装状態を確認してください。					
3	E8	PS	00000002	2200	<ps> is power off.
表示された電源機構は OFF です。 <ps> の部分は、PS1, PS2 のうち、OFF の電源機構が表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps> PS1 または PS2 [対応] 1. 電源スイッチを確認し、ON にしてください。 2. 電源ケーブルの接続と電源供給元を確認し、正しく接続してください。 3. 電源機構が故障の場合は交換してください。					
4	E8	PS	00000004	2200	Error detected on EPU.
EPU で障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. EPU に搭載している電源モジュールが半挿し状態の可能性があります。電源モジュールを正しく挿入してください。 2. EPU または EPU に搭載の電源モジュールが故障の場合は交換してください。					
5	E8	PS	00000102	2200	Power unit isn't redundantly mounted.
電源が冗長実装ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 電源の実装状態を確認してください。電源実装が冗長構成ではない場合、コンフィグレーションコマンドで no power redundancy-mode を設定してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
6	R8	PS	00000001	2200	<ps> is normal.
表示された電源は正常状態になりました。 <ps> の部分は、PS, EPU のうち、正常状態の電源が表示されます。 本メッセージは以下の場合に表示されます。 1. 電源が、異常状態から正常状態に、または未実装状態から正常状態になった場合、正常状態になった電源が表示されます。 2. 電源が冗長構成の場合に EPU が抜去されたとき、正常状態の PS が表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps> PS または EPU [対応] なし。					
7	R8	PS	00000002	2200	<ps> is normal.
表示された電源機構は正常状態になりました。 <ps> の部分は、PS1, PS2 のうち、正常状態の電源機構が表示されます。 本メッセージは以下の場合に表示されます。 1. 電源機構が、異常状態から正常状態に、または未実装状態から正常状態になった場合、正常状態になった電源機構が表示されます。 2. 電源機構が冗長構成の場合に、どちらかの電源機構が抜去されたとき、正常状態の電源機構が表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps> PS1 または PS2 [対応] なし。					
8	R8	PS	00000004	2200	EPU recovered from error.
EPU は正常状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
9	R8	PS	00000005	2200	EPU was removed.
EPU が抜去されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					
10	R8	PS	00000102	2200	Power unit is mounted redundantly or mode changed.
電源が冗長実装になりました。または、運用モードが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					

3.6.2 イベント発生部位 = EQUIPMENT

イベント発生部位 =EQUIPMENT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-15 イベント発生部位 =EQUIPMENT の装置関連の障害およびイベント情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	EQUIPM ENT	00000003	2101	Failed in accumulated running time access to main.
					装置への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間管理機能が使用できないので、使用したい場合は装置を交換してください。
2	E3	EQUIPM ENT	00020106	2101	The temperature of hardware reached the warning level (<temperature> degree).
					ハードウェアの温度が、コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature> 装置の入気温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため、装置周辺の環境（ファンの状態、通風、熱源の有無など）を確認してください。
3	E3	EQUIPM ENT	00020107	2101	The temperature of hardware came down from the warning level.
					ハードウェアの温度が、コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度より 3℃以上下がりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
4	E3	EQUIPM ENT	25040b01	2101	Layer-2 hardware table entry can't be registered. Change to recommended l2-table mode <mode>.
					レイヤ 2 ハードウェアテーブルにエントリが登録できませんでした。レイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式を <mode> に変更します。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> 変更後のレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式 [対応] なし。
5	E3	EQUIPM ENT	25040b02	2101	Layer-2 hardware table entry can't be registered. The recommended l2-table mode is <mode>.
					レイヤ 2 ハードウェアテーブルにエントリが登録できませんでした。最適なレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式は <mode> です。 [メッセージテキストの表示説明] <mode> 最適なレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式 [対応] 本メッセージで表示された検索方式を使用する場合は、コンフィグレーションコマンド system l2-table mode を変更し、restart vlan コマンドを実行してください。
6	E3	EQUIPM ENT	25040b03	2101	The recommended l2-table mode can't be selected.
					最適なレイヤ 2 ハードウェアテーブルの検索方式を選択できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] システム構成を見直してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
7	E3	EQUIPMENT	25040c01	2101	Corrected memory soft errors.
メモリのソフトエラーから回復しました。ソフトエラーによって一部のフレームが廃棄された可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。 なお、これは Switch processor 内メモリのデータビットが宇宙線等によって不意に変えられるソフトエラーが一時的に発生したことを示すもので、ハードウェア障害ではありません。					
8	E7	EQUIPMENT	00020102	2101	Hardware exceeded tolerance level of low temperature(<temperature> degree). Check room temperature.
ハードウェアの温度が許容温度範囲を下回りました (<temperature> °C以下)。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature> 0 [対応] 1. 装置周辺の環境（室温など）を確認し、改善してください。 2. ファンを確認し、障害があれば装置を交換してください。					
9	E7	EQUIPMENT	00020103	2101	Hardware exceeded tolerance level of high temperature (<temperature> degree). Check that room temperature and the fan is operating normally.
ハードウェアの温度が許容温度範囲を上回りました (<temperature> °C以上)。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature> 40 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風、熱源の有無など）を確認し、改善してください。 2. ファンを確認し、障害があれば装置を交換してください。					
10	E8	EQUIPMENT	00000001	2102	FAN stopped.
表示されたファンで障害を検出しました。 付加情報で停止したファンを識別できます。 付加情報 = 2102:ABCD***** * は不定値です。無視してください。 ABCD はファン番号に対応します。 A=FAN4 0=正常, 1=停止 B=FAN3 0=正常, 1=停止 C=FAN2 0=正常, 1=停止 D=FAN1 0=正常, 1=停止 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。					
11	E8	EQUIPMENT	25040201	2101	Hardware restarted because of its failure.
装置にハードウェア障害が発生したので、再起動を行いました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功、または障害回復失敗のログ情報を確認してください。成功の場合は継続して運用可能です。 失敗の場合は装置を交換してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
12	E8	EQUIPMENT	25040400	2101	Hardware restarted, but not recovered.
					装置の再起動を行いました。ハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。
13	E9	EQUIPMENT	00020105	2101	Hardware is becoming high temperature which give damage to this system. (<temperature> degree).
					ハードウェアの温度は、装置の運用に致命的な障害を与える温度値 (<temperature> °C以上) に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature> 検出した温度値 (60 °C以上) [対応] 1. 装置周辺の環境 (通風, 熱源の有無など) を確認し, 改善してください。 2. ファンを確認し, 障害があれば装置を交換してください。
14	R7	EQUIPMENT	00020102	2101	The temperature of hardware returned to normal level (<temperature> degree).
					ハードウェアの温度が正常温度 (<temperature> °C) に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature> 3 [対応] なし。
15	R7	EQUIPMENT	00020103	2101	The temperature of hardware returned to normal level (<temperature> degree).
					ハードウェアの温度が正常温度 (<temperature> °C) に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature> 37 [対応] なし。
16	R8	EQUIPMENT	00000001	2102	FAN is normal.
					表示されたファンは正常状態になりました。 付加情報でその他のファンの状態を識別できます。 付加情報 = 2102:ABCD***** * は不定値です。無視してください。 ABCD はファン番号に対応します。 A=FAN4 0= 正常, 1= 停止 B=FAN3 0= 正常, 1= 停止 C=FAN2 0= 正常, 1= 停止 D=FAN1 0= 正常, 1= 停止 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
17	R8	EQUIPMENT	25040200	2101	Hardware initialized.
					ハードウェアを初期化しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
18	R8	EQUIPMENT	25040201	2101	Hardware recovered.
装置のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。					

3.6.3 イベント発生部位 = FAN

イベント発生部位 = FAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-16 イベント発生部位 = FAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	FAN	00000003	1800	Failed in accumulated running time access to <fan>.
ファンユニットへの通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 <fan> の部分は、FAN1, FAN2 のうち、通算稼働時間のアクセスに失敗したファンユニットが表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <fan> FAN1 または FAN2 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間管理機能が使用できないので、使用したい場合はファンユニットを交換してください。					
2	E3	FAN	00000004	1800	Failed in accumulated running time access to the fan unit.
ファンユニットへの通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間管理機能が使用できないので、使用したい場合はファンユニットを交換してください。					
3	E8	FAN	00000002	1800	<fan> stopped.
表示されたファンは停止または未実装です。 <fan> の部分は、停止または未実装のファンが表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <fan> FAN1(1), FAN1(2), FAN2(1), FAN2(2) のどれか [対応] 1. 電源機構またはファンユニットの実装状態を確認してください。実装状態は、目視または show system コマンドで確認してください。 2. 電源機構またはファンユニットが故障の場合は交換してください。					
4	R8	FAN	00000002	1800	<fan> is normal.
表示されたファンは正常状態になりました。 <fan> の部分は、正常状態のファンが表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <fan> FAN1(1), FAN1(2), FAN2(1), FAN2(2) のどれか [対応] なし。					

4

トラッキングオブジェクトログ 【AX3640S】【OS-L3A】

この章では、ポリシーベースルーティングのトラッキング機能が出力するログの内容について説明します。

4.1 トラッキングオブジェクトログ

4.1 トラッキングオブジェクトログ

トラッキングオブジェクトログについて次の表に示します。

表 4-1 トラッキングオブジェクトログ

項番	メッセージテキスト	内容
1	Track object <track object id> is up. (type ICMP, address <destination address>)	イベント（自装置）
		ポリシーベースルーティングのトラッキングの状態が Down から Up になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <track object id> ポリシーベースルーティングのトラッキング ID <destination address> ポーリング宛先アドレス [対応] なし。
2	Track object <track object id> is down. (type ICMP, address <destination address>)	イベント（自装置）
		ポリシーベースルーティングのトラッキングの状態が Up から Down になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <track object id> ポリシーベースルーティングのトラッキング ID <destination address> ポーリング宛先アドレス [対応] なし。

索引

A

ACCESS 84

B

BGP4 21

BGP4+ 47

C

CONFIG 82

E

EQUIPMENT 170

F

FAN 174

I

IP 91

IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP) 69

IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通
〔IPv4 ルーティング情報 (RTM)〕 41

IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM) 14

IPv6 PIM-SM 75

IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6) 75

IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通
〔IPv6 ルーティング情報 (RTM)〕 66

IPv6 ルーティング情報 (RTM) 67

IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM) 42

M

MAC 117

O

OSPF 17

OSPFv3 44

P

PIM-SM 69

PORT 157

PS 169

R

RA 67

RIP 14

RIPng 42

S

SOFTWARE 122

SOFTWARE (認証 VLAN) 154

U

ULR 163

V

VLAN 95

VLAN (CFM) 115

VLAN (GSRP) 110

VLAN (L2 ループ検知) 114

VLAN (Ring Protocol) 107

あ

アクセス 84

い

イベント発生インタフェース識別子 9

イベント発生部位 9

イベントレベル 8

う

運用メッセージとログ 1

運用メッセージの確認 2

運用メッセージの出力 3

運用メッセージの内容 2

運用メッセージのフォーマット 3

運用ログと種別ログの特徴 5

運用ログのフォーマット 6

お

オプション機構 169

か

該当イベントの最新および最旧の発生時刻 10

該当イベントの発生回数 10

こ

コンフィグレーション 82

し

種別ログのフォーマット 7

そ

装置関連の障害およびイベント情報 81

装置の各部位 122

と

トラッキングオブジェクトログ 175

ふ

付加情報 10

プロトコル 91

ほ

ポート 157

め

メッセージ識別子 10

メッセージの種類 2

メッセージの種類と参照先 2

り

リモートホストでのログ取得 11

る

ルーティングのイベント情報 13

ルーティングプロトコルのイベント情報のメッセージ
出力 3

ろ

ログ種別 6

ログの E-Mail 送信機能 11

ログの確認 5

ログのコード情報 8

ログの参照とファイルの作成方法 10

ログの自動保存 10

ログの自動保存と参照 10

ログの種類 5

ログの内容 5